

Tezukayama

大学通信帝塚山

UNIVERSITY LETTER

2024 AUTUMN

[特集]

ひろがる 帝塚山ファミリー





帝塚山ファミリー

ひろがる

特集



学生と教員の距離が近く、手厚いサポートによる面見の良さで知られる本学。卒業生対象の調査（2023年度実施）でも、大学への満足度は約92・9%
高い数字を誇ります。学生一人ひとりに寄り添う教育をモットーとする本学において、親子や兄弟、姉妹などご家族で同じ帝塚山大学を選ばれた「帝塚山ファミリー」の存在は、本学の教育力や学生支援体制が、学生本人のみならず、ご家族からも信頼を得られている証だといえるでしょう。

本特集では、そんな「帝塚山ファミリー」から5組のご家族をご紹介します。本学の魅力の一端に触れていただきます。

P.17 関連記事



大学通信帝塚山55号 2024.09

01-06 特集

ひろがる帝塚山ファミリー

- 07 キャンパスレポート
- 09 クラブ・サークル活動紹介
- 12 表彰学生
- 13 地域連携×大学連携
- 15 キャリアサポート 就職支援の取り組み
- 17 IRレポート
- 19 研究紹介
- 20 所蔵品紹介・奈良学への招待
教員業績図書紹介
- 21 帝塚山TOPICS
- 23 卒業生紹介
- 24 Close-up News
大学開学60周年記念事業ご案内
- 25 Event & Information
- 27 国際交流・入試情報



Tezukayama University Archives 帝塚山大学歴史絵巻 Vol.8

学生会発行「胎動」

（1970年5月 / 昭和45年5月）



1969（昭和44）年から1971（昭和46）年の3年間は、70年安保闘争を中心とした学園紛争が日本各地で激しさを増した時期でした。本学においても例外ではなく、学生会執行部を中心に、暖房費や授業料の値上げを反対する強い抗議活動が繰り返されていました。そして、その後、執行部企画の講演者を大学当局が許可しなかったことにより学生会が紛糾し、1969（昭和44）年の大学祭が中止される事態を引き起こしました。

当時、学生会が創刊した「胎動」という冊子には、社会全体を取り巻いていた不穏な空気を反映するかのごとく、「自己崩壊したく幻想帝塚山大学」「68年学費斗争」「入試にあらわれた許可制度体制の問題点」など、ものものしい言葉が並んでいます。

この「胎動」が発刊される前年度に起こった「10・25帝大抗議集会」では、他大学と本学の学生が早朝から本学の門扉の外に集合し、大学内に押し入ろうとする事案が勃発。学生部長の堅田直教授（当時）らに対応に当たりました。抗議活動を行う本学の一部学生に対し、堅田教授は一計を案じて保護者（父親）に連絡を取りました。かたくなだった学生も、父親から電話でお叱りを受けて意気消沈し、しくしくと泣きながら引き下がったと伝えられています。

ほかに、「君たちは、このうどん代が高いと思わないのか!？」と食堂に乱入して凄む外部の過激派学生に、「え？安いです」と答えて撃退したなど、学園紛争の吹き荒れる中にもかかわらず「お嬢様大学」だった本学らしいエピソードも残されています。

TEZUKAYAMA FAMILY

#01



長兄

絹野 公一朗 さん ㊦

2017年3月、心理学部心理学科卒業。現在はオンラインショップのプラットフォームサービス会社で、企業の運用サポート業務を中心に行う。学生時代はオープンキャンパススタッフやあかね祭の企画・運営に積極的に携わった。

末弟

絹野 太志朗 さん ㊦

2023年3月、法学部法学科卒業。リフォーム業務を行う会社で営業を務める。在学時には平和学ゼミに所属し、小学校での平和学習の講師を務め、テレビや新聞にも取り上げられた。ジェンダー関連の研究で考案したオリジナルカルタで秋篠宮佳子内親王殿下の前で表彰されたことも。

次兄

絹野 晋之介 さん ㊦

2021年3月、文学部文化創造学科(現:文学部日本文化学科)卒業。現在は写真家をめざして、東京の写真スタジオで修行中。在学時に、同窓会が学生の企画を資金援助する「チャレンジ制度」を活用して『券葉集』というオリジナル商品をBAN INOUEとのコラボで開発、販売した。

母の後押しがあったから はるばる島根から奈良へ

数多くの帝塚山ファミリーを迎える本学も、三兄弟、それも遠く島根からの進学となるとめったにお目にかかれません。

長兄の公一朗さんは心理学を学べる大学を探して本学に。「都会に憧れがあったのですが、大学の雰囲気や親近感を覚えて、ここにしよう」と(公一朗さん)

次兄の晋之介さんは、公一朗さんの進学で奈良を訪ねる機会が増え、奈良の魅力に目覚めてまちづくりを学びたいと思うようになったとか。「入学後にも兄をよく知る先輩や先生方から気にかけてもらえたことが

うれしかったです」(晋之介さん)

末弟の太志朗さんは、兄2人が通っている大学だという安心感に加えて、お母さまから「学風と奈良の風土や環境が良いから」と薦められたことが進学の手助けとなったり振り返ります。「卒業した今もゼミの先生や同級生と交流が続いており、家族のような温かさを感じる大学です」(太志朗さん)

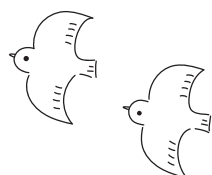
公一朗さんは、まさか第2人が同じ大学に進学してくるとは思っていなかったの、最初は非常に驚いたそうです。一方で、弟2人は兄の楽しそうな姿を見て「ここなら自

分も」と進学への思いを強めたと語ります。

3人が口をそろえるのが、帝塚山大学にはいろいろなことにチャレンジできる環境が整えられているということ。先生方の手厚いサポートで密度の濃い4年間を送ることができたそうです。

帝塚山大学をひとことで表すと「第2の故郷」(公一朗さん)「チャレンジするきっかけを与えてくれる大学」(晋之介さん)「必ずやりたいことが見つかる大学」(太志朗さん) 本学への進学を薦めてくれたご両親にも感謝したいと三兄弟は話してくれました。

父が通っていたからこそその安心感 楽しく充実した4年間は約束されていた



TEZUKAYAMA FAMILY

#02

志郎さんは娘の葉月さんが帝塚山大学を受験すると聞いたとき、うれしく思うと同時に驚きもあったと話します。「経済学と経営学の両方が学べるということに魅力を感じたのが一番の理由ですが、父の母校ということによる安心感も大きかったです」（葉月さん）「自分は自宅から近い大学というのが進学した理由だったので、学びたいものがあるという娘は偉いなと思いました」（志郎さん）

今もオープンキャンパススタッフとして活躍する葉月さん（取材時…現在は引退）。

娘

今西 葉月 さん ㊦

経済経営学部経済経営学科4年生。オープンキャンパススタッフの中心メンバーとして受験生へ笑顔を振りまいている。希望の企業から内定を獲得し、後は卒業研究を残すのみ。

父

今西 志郎 さん ㊦

経済学部経営情報学科2001年9月卒業。現在は、大阪の不動産管理会社で事務所の責任者を務め、予算管理や人材育成などを担当。進学の決め手は自宅から近いということだったそう。

学部や学年を超えた友人ができたことが大学時代の財産だと胸を張ります。希望の美容関連の企業から内定を得た今は、アルバイトと両立させながら就職後を見据えた資格取得に力を入れているそうです。

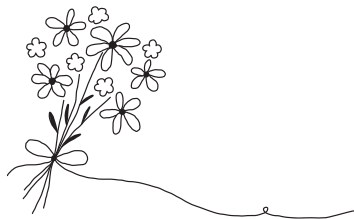
大学時代を振り返って印象に残っていることはと問うと、「自然がいっぱいの東生駒キャンパスでのびのびと学生生活を送ることができました。先生方や学生の気質も穏やかで温かいのが帝塚山大学の特徴のようになっています」（志郎さん）

葉月さんは「面倒見のよさ」を帝塚山大学のよいところとして挙げ、志郎さんも「親身になってくださる先生が多い」と娘の葉月さんの意見に同調しました。

この誌面には出てもらえなかったのですが、実は、葉月さんの弟さんも本学の学生で父と姉と同じ経済経営学部（志郎さんは、経済経営学部の前身となる経済学部出身）に在学しています。写真撮影の日は、ご家族でお食事にでかけられる予定で、その前にキャンパスに来てくださいました。仲良しなのが伝わる今西親子でした。

TEZUKAYAMA FAMILY

#03



姉

北村 茜さん ㊦

2019年3月、現代生活学部居住空間デザイン学科卒業。現在はハウスメーカーのリフォーム会社で設計の仕事に携わる。遅くまで大学に残って課題を仕上げていたことを懐かしく思い出すこともあるそう。

妹

北村 優衣さん ㊦

現代生活学部居住空間デザイン学科3年生。設計にもインテリアにも興味があるものの、そろそろ方向性を決めたいと思い悩む日々。毎日の課題は大変だが、やりがいがあると話す。

姉の背中を追いかけて
妹は同じ建築の道を歩む



しっかりもののお姉さんとおおらかな妹さんといった印象の北村茜さん、優衣さん姉妹。2人とももともと建築やデザインに興味を持っていたと話します。

「将来は新築やリフォームの戸建て設計の仕事がしたいと考えて帝塚山大学に進学しました」（茜さん）。居住空間デザイン学科は課題の多さには定評がありますが、だからこそ建築やインテリア業界で即戦力になる実力が身につけられます。茜さんの充実した大学生活を間近で見ていた優衣さんが、同じ大学の同じ学科をめざすのは当然だったのかもしれませんが。

「姉が友人と製図や実習を楽しみつつがん

ばっているのを知っていたので、いい大学なんだろうなと。自然と帝塚山大学で学びたいと思うようになりました」（優衣さん）

優衣さんが同じ大学の同じ学科に進学すると聞いたとき、「妹はデザインに興味があったけれど、どんな種類のデザインにするかは決まっていない状態。デザインを幅広く学べる居住空間デザイン学科は向いているんじゃないかなと感じました」（茜さん）

優衣さんとも思いは同じだったよう。「姉が自分の夢をかなえたのを見て、帝塚山大学ならデザイン力の幅を広げられるのではなかったかと思いました」（優衣さん）

本学の居住空間デザイン学科は、建築士

の資格取得をめざしながら、まちづくりやプロダクトデザイン、グラフィックデザインなど、幅広くデザイン分野の知識が養われるのが特長です。「設計や製図のスキルだけではなく、建築そのものに対する考え方を学べたり、作品合評会でプレゼンをする機会があったり、社会に出てからも役立つスキルが身につきました」（茜さん）。

進むべき分野を決めかねている優衣さんに、茜さんは「どんな仕事に就こうとも、大学で学んだことが後々役に立つときが来る。今を全力で楽しんでほしい」とアドバイスを贈りました。



姉は警察官、妹は管理栄養士

大学での学びを生かして

それぞれが専門の道へ

TEZUKAYAMA
FAMILY

#04

姉のかおりさんは警察官、妹のゆいさんは管理栄養士として働く東本姉妹。もともと法律に興味があったというかおりさんは、警察官を志望する学生向けの講義や採用試験対策が充実していたことから本学の法学部へ進学しました。「現職の警察官の方による講義や公務員試験対策などが充実していたことが決め手になりました」（かおりさん）

管理栄養士をめざしていたゆいさんは、本学の食物栄養学科に養成課程があることから受験を決意。さらに、かおりさんが充実した大学生活を送っていたことも大きな後押しとなったそうです。「サポートの手厚さを姉から聞いていたので、迷いはありませんでした」（ゆいさん）

2人とも在学中はオープンキャンパススタッフとして活躍。「縦にも横にもつながりができたことは貴重な経験」（かおりさん）「高校生のとき、オープンキャンパスで出会った学生スタッフさんの

対応がすばらしくて…。姉がスタッフだったのも、やってみようと思うきっかけになりました」

本学の特徴として2人が強調するのは、「学生との距離が近い大学」だということ。「学生数がほどよいこともあって、一人ひとりの学生に向き合ってくれている実感がありました」（ゆいさん）「漢字で表すのなら、密着の“密”がぴったり。先生方や学生同士の親密度も、実生活や地域に密着したプロジェクトや授業なども、すべてが密着な感じがします」（かおりさん）

在学生には学生時代にしかできないことにチャレンジしてほしいと話すかおりさんとゆいさん。「ぜひオープンキャンパススタッフを経験してほしい。達成感が得られます」（ゆいさん）「警察官は男女関係なく活躍できて、仕事と家庭の両立も可能な仕事。たくさんの学生さんにめざしてもらいたいです」（かおりさん）と力強いメッセージを贈ってくれました。



妹

東本 ゆいさん ㊦

2022年3月、現代生活学部食物栄養学科卒業。現在は、介護老人保健施設で管理栄養士として働き、利用者の状態に応じた食事提供や栄養状態の把握などに努める。

姉

柴原(旧姓:東本)かおりさん ㊦

2018年3月、法学部法学科卒業。卒業後、警察官として交番勤務などを経て、現在は育児休業中。初めての子育てに奮闘する日々を送る。写真中央は、かおりさんのご長男(特別出演)。



最後まで迷った進学先 信頼感を重視して家族と同じ大学に

TEZUKAYAMA FAMILY

#05

母

河野(旧姓:山本)陽子 さん ㊟

1990年3月、教養学部教養学科卒業。卒業後は蓮花研究室(現:名誉教授 蓮花一己)で秘書を務める。同研究室のゼミ生だったご主人とその後結婚。今でも虹色祭で同窓会が出店する模擬店を手伝うなど大学との縁が深い。

息子

河野 爽汰 さん ㊟

現代生活学部居住空間デザイン学科1年生。リフォームに興味があって建築分野への進学を希望していた。今は将来に向けて、いろいろなデザインの知識を蓄えたいと考えている。

お母さまの陽子さんは女子大最後となる1986年度の入学生。帝塚山高等学校からの進学です。翌年の1987年には本学に経済学部が発足し共学化。初となる男子学生が入学してきました。

「女子大時代は華やかな装いの学生が多かったのですが、男子学生が増えるにつれてファッションがどんどんスポーティになっていったのを覚えています」(陽子さん) 学生時代は古墳での発掘作業などにもかかわったそうで、自然豊かな大学でのびのびとしたキャンパスライフを送ったと振り返ります。

息子の爽汰さんは、ご家族の薦めがあつての進学なのかと思いきや、そうではないとのこと。「リフォームに興味があつたので、建築関係には思っていました。当初は別の大学も選択肢にありました」(爽汰さん)「自宅から通える大学にしてほしいという希望だけ伝えて、進学先は息子の自主性に任せていました」(陽子さん)

その後、高校の先生からも本学を勧められ、爽汰さんは受験を決断。自分と同じ大学を選んだことについて陽子さんは、「あら、そうなの?」と。年明けの入試だったので決まっていたよかったですというのが本音でした」と胸のうちを明かしてくれました。

爽汰さんが入学して感じたのは、「資格制度の充実度、学べる内容の幅広さ。思っていた以上にいろいろ整っている」ことだそうです。「将来は建築関係の仕事でお客様に最適な住まいを提案できるようにしたいんです。そのために、しっかりと大学の課題はこなしていきたいと思っています」(爽汰さん)

今も時折、東生駒キャンパスにある同窓会室を訪ねたりしている陽子さん。「いまどきの学生さんでいっぱいだけど、大学の雰囲気によさは今も昔も変わらない」と語ります。この空気感こそが「帝塚山ファミリー」の皆さんに選ばれる大学である所以なのかもしれません。



法学部 法学科



警察実務講座100回記念 特別講座を開催

関連記事 P.24

6月21日、この4月に危険業務従事者叙勲で瑞光双光章を受章した松岡幸司客員教授を講師に招き、100回目となる警察実務講座を記念する「警察官人生を語る」と題した特別講座を開催しました。法学部の警察関連科目の初代担当教員である松岡客員教授が、自身の警察官人生を振り返りながら、警察の実務や求められる素養など警察志望学生にとって貴重な話をしてくださいました。松岡客員教授の担当授業を引き継いだ奈良県警察OBの藤本晃章客員教授からも、学生に向けてアドバイスが送られました。

心理学部 心理学科



JWマリオット・ホテル奈良でマナー講習を受けました

心理学部では、4月5日、新入生オリエンテーションの一貫としてJWマリオット・ホテル奈良でマナー講習会を行いました。4年間の大学生活が始まる記念として美味しい料理をいただくとともに、これから社会に出ていくために欠かせないテーブルマナーも学んでもらおうという趣旨で企画したものです。

テーブルマナーの歴史や豆知識なども織り交ぜつつ、講師の方が丁寧かつ分かりやすく説明され、とても和やかな食事会となりました。

経済経営学部 経済経営学科



他大学との共同発表会で企業研究の成果を報告

経済経営学部では2年次後期からゼミに所属し専門的な学習を行います。

3年次の薄井健講師のゼミで、追手門学院大学の平尾盛史講師ゼミと共同で「業界企業研究報告会」を開催しました。学生は2か月かけて業界・企業を調査し、研究成果を15分間のプレゼンテーションで発表。他大学生との交流で視野を広げ、社会で求められる調査力とプレゼン力を磨きました。この取組みを通じ、学生は専門的な知識に加え、就職活動にも役立つ多くの知識を得ることができました。

現代生活学部 食物栄養学科



NR・サプリメントアドバイザー認定資格取得を支援

3、4年生を対象としたサプリメントアドバイザー特別演習は、NR・サプリメントアドバイザー認定資格取得をめざした授業です。この資格は、一般消費者を対象に、個人の栄養状態を専門的な観点で評価し、保健機能食品やサプリメントの機能や使用方法などについて適切にアドバイスできることを日本臨床栄養協会が認定するものです。在学中に資格が取得できるため、就職活動で保有資格をアピールできる利点があります。学科では、12月の受験に向けて授業終了後も講習会などのサポートを行っています。

文学部 日本文化学科



1年生が「学外実習」で文楽を鑑賞

日本文化学科1年生の科目「学外実習」は、現地に出かけて本物に触れながら学ぶ体験型授業です。奈良を中心に年間30回以上の企画を実施し、学生はそれぞれに行きたいと思うものを選んで参加します。6月15日には国立文楽劇場での文楽鑑賞に15名が参加し、「二人三番叟」と「菅原伝授手習鑑」を観劇しました。今回は近世文学・演劇ゼミの3年生が1年生のために、「菅原伝授手習鑑」の登場人物に関するコラムなどを載せた冊子を作成。1年生は冊子やイヤホンガイドを参考にしながら、舞台に引き込まれて鑑賞することができたようです。

Campus Report

学科と研究科の特色ある取り組みを紹介します。

現代生活学部 居住空間デザイン学科



「もし奈良に日本酒博物館があったら」奈良県の酒蔵情報のパネルを図書館に展示

2024年3月に卒業された、梅谷委世さんの卒業研究の『「奈良県の日本酒博物館」展示物』が、東生駒キャンパス図書館のラーニングcommonsに飾られています。奈良は日本酒発祥の地であるにもかかわらず奈良の知名度が低いことを払拭するために、もし奈良に日本酒博物館があったら

と想定して制作したもので、日本酒にまつわる歴史や製法、酒蔵などの情報を集めて整理し、パネルにまとめています。これらを見るだけで日本酒の知識が深まり、奈良にあるすべての酒蔵に関する詳しい情報が得られます。

教育学部 こども教育学科

卒業生の前途を皆で祝福
壁面いっぱいに飾られた「金色笑顔」

関連記事 P.14

18号館内を造形表現で彩るプロジェクト「18号館まるごとこども美術館」が昨年度からはじまり、幼稚園・小学校との連携によるこどもたちの作品や、教育学部の学生・教職員全員で制作した作品の展示を行ってきました。この「金色笑顔」という作品は、この春に卒業した上級生へのお祝いの気持ちを込めて、教育学部の学生たちが約1,500枚の金色の折り紙でつくりました。18号館2階エントランスの壁面いっぱいに展示された「金色笑顔」は、卒業式で多くの笑顔であふれる撮影スポットとなりました。

人文科学研究科 日本伝統文化専攻



大学院生が学芸員の仕事を体験しました

7月13日、人文科学研究科で学芸員を目指して学ぶ大学院生4名が、大和郡山市で開催の講演会「柳澤吉里郡山入部300年記念 柳沢文庫歴史塾(郡山学)『武田信玄の遺志を継ぐ者—柳澤家の甲斐国領有とその事績—』」に参加。甲府市教育委員会の佐々木満氏によるご講演の前には、会場のスタッフとして来場者の誘導やグッズの販売、ビデオ撮影のお手伝いをしたり、柳沢文庫展示室で特別展を見学して学芸員の方のギャラリートークを聞いたりしました。講演会の運営や展示解説の仕方など、学芸員の仕事を体験する貴重な実学の機会となりました。

帝塚山大学大学院より Graduate School

心理科学研究科 心理科学専攻

修士論文中間報告会を開催しました

心理科学研究科では、4月24日に博士前期課程2年生の修士論文中間報告会を開催しました。発表者は、約2週間前に発表動画と抄録を作成し、教員や他の院生が事前に関覧できるようにして、当日はポスター発表を行いました。

従来の口頭発表のスタイルとは異なり、同時進行的に個別でのディスカッションが可能となるため、かなり深いところまで議論が繰り広げられました。計2時間にわたる質疑応答でしたが、とても充実した報告会となりました。



クラブ・サークル活動紹介

クラブ・サークルを通じて、学内外で活躍する
帝塚山大学生の姿をお届けします。

強化認定クラブ 女子バレーボール部

若手選手の覚醒が著しい今季 来季への期待が高まる戦果を示す

4月21日に開幕した2024年度春季リーグ戦では、初戦から4連勝と好調な滑り出しを見せるも、途中でエースアタッカーの堀由佳選手（心理4年）を膝の故障により欠き、第5戦から痛恨の4連敗を喫することに。しかしながら、ここから粘りを見せるのが帝塚山大学。フルセットの末、たて続けに勝利をもぎ取る展開で、最終的にはリーグ第4位という結果となりました。首位奪還はできませんでしたが、アタッカーとしての実力を見せつけた内田千晴選手（経済経営3年）や堀選手の抜けた穴を埋める大活躍を見せた下井みゆ選手（経済経営2年）など、来季の結果が期待できる大会となりました。

6月20日に開幕した西日本インカレ大会（2024年度 第50回 西日本バレーボール大学女子選手権大会）が本学は予選グループ初戦で至学館大学を



セットカウント2-0で下し、第2戦の愛知教育大学にもストレートで勝利しました。続く帝塚山学院大学との戦いは、第1セットを落としたものの3-1で試合を制して順調にベスト8に進出しました。ベスト4がかかる中京大学との対戦は残念ながら1-3で敗戦し、今年の西日本インカレはベスト8という成績で終了しました。

7月15日には、「2024年度天皇杯・皇后杯 全日本6人制バレーボール選手権大会奈良県ラウンド」が行われ、本学は順調に勝ち進み、近畿ブロックラウンドへと駒を進めました。



強化認定クラブ レスリング部

東生駒
キャンパス

ベテランから新人まで期待に応える戦績を上げる 創部以来初の女子選手も目覚ましい活躍

4月27日～28日に横浜武道館（神奈川県横浜市）で開催の「2024年度全日本ジュニアオリンピック選手権（男子U20）」で、フリースタイル125kgで島田京弥選手（法1年）が3位となり、全国大会での初のメダルを獲得しました。

6月29日、30日には富士見市立市民体育館（埼玉県富士見市）で全日本社会人選手権が行われました。同大会は、女子に限り自衛隊などの社会人に加えて大学生もエントリーできます。同大会では、本学初の女子選手である矢野楓奈選手（法1年）が50kg級で3位に入賞しました。



野楓奈選手（法1年）が50kg級で3位に入賞しました。

7月13日、14日に金岡公園体育館（大阪府堺市）で行われた「西日本新人選手権大会」では、升田康太選手（経済経営2年）が、昨年に引き続き、グレコローマン、フリーの両スタイルを制覇し、「天皇杯 全日本選手権」への出場権を獲得しました。そのほかにも多くの選手が入賞を果たし、本学の実力を印象づける大会となりました。



また、学生日本一を決める「文部科学大臣杯 全日本学生選手権大会」（8月23日～26日 駒沢オリンピック公園体育館/東京都世田谷区）において、吉田奨健選手（経済経営4年）が、強

西日本新人選手権大会

◆グレコローマンスタイル

87kg級	升田康太（経済経営2年）	優勝
87kg級	岡山ダー（経済経営1年）	準優勝
77kg級	大原千宙（経済経営2年）	3位
72kg級	中本圭作（日本文化2年）	3位

◆フリースタイル

86kg級	升田康太（経済経営2年）	優勝
86kg級	岡山ダー（経済経営1年）	準優勝
72kg級	中本圭作（日本文化2年）	3位
65kg級	中村太紀（経済経営2年）	3位

豪の集うブロックを勝ち抜き、フリースタイル92kg級で3位に入賞。銅メダルを獲得し、この大会では、本学初のメダリストとなりました。



硬式野球部

東生駒
キャンパス

後半は調子を上げるも 序盤の3連敗が響き、リーグ4位に終わる

2024年春季リーグ初戦は、最終回に4点をもぎ取られ、逆転負けでの黒星発進に。リーグ後半戦に行くにしたがって調子を上げて連勝を収めるも、序盤の3連敗が響いて最終的には6勝4敗。リーグ4位という結果になりました。目標である1部リーグへの昇格は来シーズンへ持ち越しとなりました。

なお、今季のリーグ戦では、ベストナイン一塁手に安田遼音選手（経済経営2年）が選ばれました。



ラグビー部

東生駒
キャンパス

来シーズンでのBリーグ昇格をめざして チーム力アップを誓う

2023年度リーグ初戦は相手チームを大差をつけて勝利。その勢いのままに連勝が期待されたものの、調子が上がらず、2勝2敗でC1リーグで3位という結果に。C2リーグ4位の神戸学院を54-14で下して、滋賀大学との5-6位の順位決定戦に臨みました。その対戦に33-45で敗れ、最終順位は6位に終わりました。入替戦に臨めるのは上位4チームのみ。Bリーグ復帰には今季も届かず、来季の飛躍を目標に練習に励む所存です。



Clubs & Circles

①活動内容 ②アピールポイント ③今年の目標

ソフトテニスサークル

東生駒
キャンパス経験者も未経験者も
皆で仲良くテニスが楽しめます

楽しくソフトテニスのできる場所にしていきたいと思っています。男女問わずたくさんの人に参加してほしいです！

代表 澤見 弥和さん(経済経営1年)

- ①東生駒キャンパス通用門近くのテニスコートが活動場所。(取材時点では)荒れ放題のコートの草抜きやトンボ掛け、ローラーなどの整備からスタート。コートが使えるようになれば、火曜日と木曜日の3限後から練習の予定です。
- ②男子13人 女子が一人もないので絶賛募集中です！
- ③皆が元気いっぱい仲がとても良いところです。整備も呼びかけると皆が手伝ってくれるほど。楽しく活動できます！



雑草が生え放題だったコートを整備し、練習開始!!



未確認生物(UMA)研究会

学園前
キャンパス不思議なこと、奇妙な現象
興味がある人 大募集!

奇妙なものや怖いものが好きな人も苦手な人も、自由に楽しんで活動できるサークルをめざしています！

代表 井本 朋花さん(心理2年)

- ①学園前キャンパスのI4301教室で、未確認生物(UMA)に関する情報収集・歴史学習を基本に活動しています。月1回のミーティングを行い、年に1~2回ほど未確認生物の調査に遠征する予定です。
- ②女子5人
- ③今年の4月に心理学部の2年生で設立したばかりのサークルです。自由な活動を求めている人におすすめ。「こんなことをしたい!」といった新しい意見を柔軟に取り入れて活動の幅を広げていきたいです。



未確認生物(UMA)に関する資料を持ち寄って皆で楽しく情報収集



令和6年度 課外活動表彰式を行いました



7月17日、令和6年度の課外活動表彰式を東生駒キャンパス会議ホールで行いました。本表彰は、体育会系、文化会系などの課外活動において、優秀な成績を収めた団体または個人に対し、その栄誉を称えて表彰する制度です。

今回の表彰式では、3団体と4名が令和5(2023)年度の課外活動の実績を評価されて団体賞と個人賞を受賞。熊谷礼子副学長から表彰状と記念品が手渡され、(2024年3月に卒業した北山佳月さんは3月の卒業式で表彰されています)「皆さんの日ごろの鍛錬はスポーツのみならず、人生のあらゆる局面で必ず力になる」と激励の言葉が贈られました。

表彰式の後には大学のバックパネルの前で記念撮影を行い、皆がさらなる躍進を胸に誓いました。

表彰団体および表彰学生

- 1 団体賞 優秀賞 女子バレーボール部
- 2 団体賞 優秀賞 レスリング部
- 3 団体賞 アイススケートサークル
- 4 個人賞 最優秀賞 レスリング部 吉田 奨健(経済経営4年)
- 5 個人賞 優秀賞 女子バレーボール部 北山 佳月(経済経営2024年度卒)
- 6 個人賞 優秀賞 女子バレーボール部 堀 由佳(心理3年)
- 7 個人賞 優秀賞 レスリング部 升田 康太(経済経営2年)
- 8 個人賞 優秀賞 アイススケートサークル 来栖 綾侑子(こども教育4年)

※学年は2024年度のもの

(写真) 上: 団体賞受賞のレスリング部
中: 受賞学生をたたえる熊谷副学長
下: 団体賞受賞の女子バレーボール部

クラブ・サークル活動紹介

クラブ・サークルを通じて、学内外で活躍する
帝塚山大学生の姿をお届けします。

5年ぶりの学園前キャンパス開催 一般の方も来場「第17回あかね祭」

2024.5.12
SUN.



新入生歓迎を目的に開催される「あかね祭」は、短大時代の「茜祭」の伝統を引き継ごうと当時の学園前キャンパスの学生が2007年度から再開させたイベント。毎年春に学園前キャンパスで行われ、ハトの広場に立ち並ぶ数々の模擬店やステージイベントを目当てに、1000人を超える来場者でにぎわう帝塚山大学の恒例行事です。

4年前のコロナ禍では中止を余儀なくされたものの、その翌年にはオンラインで実施、さらに翌年には東生駒キャンパスに場所を移して学生と教職員のみに入場を制限した対面形式で開催されました。学生たちは創意工夫を重ね、「あかね祭」の伝統を守り、今年へとつなげてきました。今年度は2019年度以来となる学園前キャンパスでの開催で、地域の方々にも門戸を開き、5月12日は800名を超える方々が訪れました。

ハトの広場に設けられた特設ステージでは、音楽系クラブ・サークルや演劇部、そして「楽笑Crew」によるダンスなどによる熱のこもったパフォーマンスが披露されました。お笑い芸人LIVEやビンゴ大会では、雨模様にもかかわらず多くの観客が集まり、ステージ前は大いに盛り上がりました。そのほかにも、心理学部による交流イベント「ふれあい広場」、手品やお茶席などの催し物、クラブ・サークルの相談会など多彩な企画が行われ、学生同士だけでなく地域の方々とも交流を深めました。

あかね祭恒例の大きなバルーンのトランポリンや縁日で遊ぶ親子、模擬店でのグルメを楽しむ在学生、友人と連れ立って久しぶりに大学を訪れた卒業生など、久々のお祭りを堪能する来場者であふれ、学園前キャンパスは活気に包まれていました。

2024.4.13
SAT.

白熱のビンゴ大会！ 新入生歓迎会を 東生駒キャンパスで開催



4月13日、新入生歓迎会を開催し、まだ桜の残る東生駒キャンパスが多くの新入生でにぎわいました。

第1部は、「学生生活を取り巻くリスクについて」と題した講演で、奈良県警察本部生活安全課の講師から薬物の危険性や防犯対策について詳しい解説がありました。第2部では、学生会やクラブ・サークルがスライドを用いて新入生に活動内容をプレゼンしました。すべての紹介が完了した後は、恒例のビンゴ大会です。豪華賞品が当たるとあって、番号が読み上げられる度に会場から歓声が沸き起こりました。

歓迎会が終わると、6号館前の広場で、ユニフォームや思い思いの服装をまとった上級生がちらしを配ったり、一芸を披露したりして、新入生勧誘に最後のアピールを行いました。



軟式野球部

西都大学軟式野球連盟 1部リーグに昇格



軟式野球部が「2024年西都大学軟式野球連盟春季リーグ戦（2部）」で優勝し、創部以来初の1部昇格が決定しました。

5月17日の初戦から快勝を取ると、勢いそのままに最終戦まで突き進み、最終戦は敗れたものの優勝を決めて初の1部昇格を果たしました。軟式野球部は、一時は部員の減少により活動休止状態が続いていたところを、現3年生が中心となって復活させ、短期間ですばらしい結果を出しました。

なお、本春季リーグ戦では、多くの個人タイトルも獲得しています。

<最優秀選手賞> 野田 航希さん（居住空間デザイン2年）
<最多勝> 澤村 将吾さん（日本文化2年）
<最多本塁打> 河原 煌樹さん（日本文化2年）

Honor Students

学部褒賞学生

本学では、各学部学科の2年生から4年生を対象に、前年度の成績が優秀な学生に「学部褒賞」を授与しています。
2024年度の褒賞学生が決定し、学科ごとに表彰式が行われました。学生の日々の研鑽と努力をたたえ、学部長から賞状と記念品が手渡されました。

【学部学科内 学年ごとに50音順 掲載承諾学生のみ】



2年	4年	3年	2年
経済経営学部 浅井 彩花 阿部 彩羽 有川 煌稀 池田 壮帆 石埜 萌 今村 晴之助 植田 理愛 上野 楓花 岡西 優来	文学部 日本文化学科 泉谷 羽奏 高橋 美晴 宮本 夏乃 鯛谷 梓実 辰巳 まゆ 中嶋 都輝 齋藤 晴日 杉浦 慶子 牧野 由来		

4年	3年
加川 礼音 北山 菜々実 小崎 直 佐藤 日晴 島袋 祐矢 新宮 翔太 辻井 未来 仲川 友佳 西原 久美香 松本 菜々花 松本 琉雅 吉川 眞由 池田 心源 上田 雅基 小栗 ひとなか 三反畑 奈々星 清水 莉奈 竹辺 朱梨 田上 千尋 田村 春陽 出原 未来 中居 詩生里 西岡 颯 西出 結喜 冬木 純一郎 松井 綾音 松石 優希 松下 晃大 森田 恵梨菜 柳村 柊吾 山崎 由貴 赤川 絵梨 遠藤 碧 奥本 誠司 川並 大起 木村 萌恵 小林 愛里 玉野 佑香里	中井 咲希 馬場 詩織 東 永泰士 福永 泰士 古川 元 松田 里奈 宮本 雅哉 村田 直毅 森田 茂充 八ツ本 有真 矢野 拓真 ZHONG RUKIN LU MEIQIAN ※経済経営学部のみ、各学年につき20人を経済経営学部成績優秀者として表彰している。

3年	2年	4年	3年	2年
心理学部 心理学 山口 実莉 河野 結衣 岡田 元斗 松井 彩華 花谷 恋都子 川本 みのり	心理学部 心理学 GENG ZHI 服部 真里奈 佐久川 渉 岡田 潤太 林田 碧 西岡 柚葉 富岡 美来 松下 直樹 竹内 嵯恵	法学部 法学 松田 直樹 富岡 美来 上野 山凜 西岡 柚葉 林田 碧 岡田 潤太 佐久川 渉 服部 真里奈	現代生活学部 食物栄養学科 小坪 歩夢 谷 郁花 吉野 優五 影山 心美 福田 瑞希 細川 菜摘 植田 百香 岸奈 津子 中村 柚稀	現代生活学部 居住空間デザイン学科 有馬 紗彩 高瀬 将生 松下 明香里 川幡 莉瑚 戸口 珠緒 藤岡 涼葉 阿部 来夢 鬼塚 愛美 小中 瑠美

4年	3年	2年
教育学部 こども教育学 石橋 優佳 西 真都 島田 彩花 大石 紗良 田中 知里 中村 花 平井 結衣 中山 結衣 船越 和花	教育学部 こども教育学 上垣 晴奈 大西 琉来矢 野崎 綾香	

※学年は2024年4月時点のもの

4年 上垣 晴奈
大西 琉来矢
野崎 綾香令和5(2023)年度後期
学長表彰

「学長表彰」とは、学業や優れた活動により社会的に高い評価を受けるなど、本学の名譽を高めることに貢献した学生または学生団体を学長が表彰する制度で、「学長賞」と、それに次ぐ「学長奨励賞」の2つの賞を設けています。令和5年度後期の表彰対象者は右記のとおりです。



学長賞			(本表内学生はすべて2024年3月卒業)
文学部日本文化学科	大畑 瑞月	学科内学業成績最優秀者	
	国松 あすみ	学科内学業成績最優秀者	
経済経営学部経済経営学科	藤田 泰成	学科内学業成績最優秀者	
法学部法学科	木下 歩美	学科内学業成績最優秀者	
心理学部心理学科	久野 咲莉	学科内学業成績最優秀者	
現代生活学部食物栄養学科	西岡 若菜	学科内学業成績最優秀者	
現代生活学部居住空間デザイン学科	佐藤 花梨	学科内学業成績最優秀者	
	松田 紗弥	「京都デザイン賞」において「京の和文具賞」を受賞	
教育学部こども教育学科	伊藤 美空	学科内学業成績最優秀者	
文学部日本文化学科「2023年度スピコンサポートプロジェクトチーム」			
日本語教員養成プログラムの一環で、留学生日本語スピーチコンテストに参加する留学生を、日本語教員資格の取得を目指す学生がサポートした。			

学長奨励賞	
法学部法学「国際法・平和学ゼミ(末吉ゼミ)」	ゼミにおいて、戦争遺跡デジタルマップの制作や小中学校における平和学習などを実施し、学生の主体的な活動により本学の知名度の向上に貢献。
現代生活学部食物栄養学科「藤村ゼミ柿チーム」	若者の柿消費拡大につながるような商品開発に取り組み、「柿ソース」レシピを考案。地域貢献に寄与。
現代生活学部居住空間デザイン学科 上野 朝絵	デザインコンペ(JIPA + JIPAK 第5回 デザインコンペティション)で協賛企業賞を受賞。本学の知名度の向上に貢献した。



地域連携 × 大学連携

本学は、「実学の帝塚山大学」をスローガンに掲げ、自治体、企業、研究機関などと連携して地域や社会の課題解決に取り組む「プロジェクト型学習」に注力しています。

奈良県を中心に各所で展開する地域連携、産官学連携のほか、学術協定をもとにした大学連携、総合学園の強みを生かした帝塚山学園内での教育連携など、多種多様な協働事業を通じて、学生は実践力とともに「時代を生き抜く力」と「変化に対応する力」を身につけます。



五條市と共同で買い物困難者の実態把握調査 学生が現地ヒアリングで市民の声を拾う

経済経営学部
経済経営学科
×
五條市



全国的に増加している買い物困難者問題。その背景には、既存商店街の衰退や高齢化による運転免許を持たない人々の増加などがあると考えられています。この問題は県内の五條市でも例外ではなく、同市による2019年度の調査では、市民の4人に1人が買い物など日常生活に不便を感じていることが判明しました。

この状況を受け、経済経営学部の荒木大恵講師（専門：地域経済学）と豊澤圭助教（専門：経済政策）がゼミ生とともに、同市における買い物困

難者の実態を把握する調査を行いました。この調査は、五條市との連携協定の一環で、65歳以上の市民1,000人を対象にした無作為抽出郵送アンケートと市内大型小売店での街頭ヒアリングを組み合わせ実施されました。

7月6日に五條市内の4店舗で行った実地調査では、「食料品が購入できる店舗が減った」「運転できなくなると買い物できない」といった市民の声が寄せられました。調査に参加した荒木ゼミの福岡望さん（経済経営3年）は、「大容量のペットボトル飲料を購入する人が多かった。車があるからこそこの買い物だと感じた」と話し、「車を持たない友人が買い物に困っていると話す人もいた」と振り返りました。

8月29日には、このヒアリング調査と郵送アンケートの分析結果（有効回答数658名）について、学生と教員が平岡清司五條市長にオンラインで中間報告を行いました。アンケートの集計結果から、

運転ができない世帯が不便を感じている割合が高いことが改めて明らかになり、同時に、配達サービスに対する期待感と、移動販売場所の利便性が重視されていることが示唆されました。これらをもとに①公共交通の拡充②配達サービスの手数料補助③移動販売ルートの見直しなどを政策として五條市に提案しました。平岡市長は「公共交通の拡充については運行ルートと時間の調整が難しい面もあるが、配達サービスでの補助など、今回の報告結果を踏まえて検討していきたい」と述べました。



（写真左）大型小売店での実地調査を行う学生。丁寧に買い物客へのヒアリングを行う。（写真右）五條市の担当者と現状について打ち合わせる。



「ぬぐう汗男子に限らぬ甲子園」「寝れない寝ていない日本の女たち」 男女共同参画週間に「ジェンダーギャップを考えるカルタ」の新作を展示

法学部法学科
×
奈良育英高等学校・中学校
×
生駒市

法学部の末吉洋文教授（専門：国際法、平和学）のゼミでは研究のテーマのひとつに「ジェンダー問題」を掲げ、2020年度から毎年、ジェンダーギャップについて知識を深めることができるカルタを学生が制作して一般に公表しています。

これまで国際女性デー（3月8日）に新作を発表してきたカルタを、今年は男女共同参画週間（6月23日～29日）に合わせて発表し、同時に24日から生駒市コミュニティセンター（生駒市元町）と生駒市役所（生駒市東新町）でカルタの展示を行いました。今年のカルタは、本学と高大連携を結ぶ奈良育英高等学校・中学校の生徒が考案した読み札のほか、生成AIによるものも登場し、今まで以上にさまざまな視点からジェンダーに関す

る気づきが得られるカルタをそろえました。

23日には親子を対象にしたジェンダーカルタ大会を開催。学生と奈良育英高等学校・中学校の



（写真左）新作だけでなく、2020年度から2023年度にかけて作ったカルタからも選りすぐったものを展示。
（写真右）カルタ大会では、本学学生とともに奈良育英高等学校・中学校の生徒が大活躍。参加した小学生もカルタに熱中した。

生徒がファシリテーターを務め、参加者とともにカルタを楽しみました。





(写真上)當麻寺護念院の前で外国人観光客にリーフレットを渡す。
(写真下左)境内にかけられた来迎橋で観音菩薩らが中将姫を迎え、阿彌陀如来が待つ極楽へと導く。(写真下右)練供養の見どころを説明する学生。



當麻寺で1000年続く伝統行事 「聖衆来迎練供養会式」 1日限定の観光案内所をオープン

文学部
日本文化学科
×
當麻寺護念院

4月14日、當麻寺(葛城市)で、「聖衆来迎練供養会式」が開かれ、日本文化学科の学生らが護念院門前で1日限定の観光案内所を設置しました。学生は鮮やかなブルーのオリジナルTシャツに身を包み、この日のために作成した練供養のリーフレットを観光客に配布しました。また観光客の求めに応じて、練供養会式の見どころや歴史的背景に関する解説のほか、拝観場所の案内などを行いました。ボランティア班の学生は、事前練習を重ねてきた、菩薩装束の着付けや面・光背の装着をサポートしました。

このプロジェクト(當麻寺プロジェクト)は日本文化学科と當麻寺護念院が連携し、国の重要無形民俗文化財に指定された當麻寺の魅力をさまざまな形で発信していくことを目的にスタートしたもの。これまで、練供養会式の準備の様子を記録写真として残したり、今年の宣伝ポスターを作成したりしています。

今後予定しているのは、練供養会式で使用されている中将姫像(當麻寺護念院所蔵)のレプリカ制作。本学と学術協定を結ぶ大阪電気通信大学の協力を得て、3Dスキャナー撮影による「寺の外に持ち出せ、手に取れるスバーリアルなレプリカ文化財」を今秋には完成させる予定です。



「18号館まるとこども美術館」プロジェクト第2弾 今年は帝塚山幼稚園と連携して園児の作品を展示

教育学部
こども教育学科
×
帝塚山幼稚園

こども教育学科では、総合学園の強みを生かし、同一キャンパス内にある幼稚園や小学校と連携して、さまざまなプロジェクトにも取り組んでいます。その一環として、はじまったのが「18号館まるとこども美術館」プロジェクトです。昨年度は、帝塚山小学校の3年生による自画像作品を18号館の壁一面に展示し、カラフルなアート空間を作り上げました。今年度は、帝塚山幼稚園との連携による「額で絵を運

んでてらんかい」が行われました。7月10日、園児は自分自身が選んだ作品をこども教育学科の学生と協力しながら18号館まで運び、金色の折り紙が貼られた壁「金色笑顔」の前に展示しました。一仕事を終えた園児は、造形室で担任の先生をモデルに絵を描いたり、ろくろを使ってカラーペンで渦巻き模様を描いたり、学生とともに造形活動を満喫しました。



(写真)「こうかな?」まっすぐになるように、慎重にイーゼルに自分の作品を置く。

大学 連携

第12回 実践学生発表祭 ～アクティブ・ラーニングの実践事例～を開催

2024年3月1日、東生駒キャンパスにおいて「第12回 実学の帝塚山大学実践学生発表祭 ～アクティブ・ラーニングの実践事例～」を開催しました。

本発表祭は、多摩大学(東京都多摩市)との学術交流に関する包括協定にもつぎ毎年春休みの時期に実施するもので、多摩大学を主会場として12月に行われる「多摩大学アクティブ・ラーニング祭」と並ぶ、実学の成果を発表する一大イベントです。大学の枠組みや専門分野を越えて意見交換を行い、新しい学問的視点へと結びつけることを目的に開かれる本発表祭に、今年度は本学から7組、大学間連携を結ぶ多摩大学と大阪電気通信大学(大阪府寝屋川市)から4組の合計11組が参加しました。

いずれの発表もこの日のために入念な準備をしてきたことをうかがわせる内容で、10分という限られた発表時間の中で、学生たちは1年間かけて取り組んだ「プロジェクト型学習」の成果を余すところなく披露しました。

本学からは、奈良県で事業化された「大学生が創る奈良の心理教育を活用した予防的支援事業」、オリジナル味噌の企画・開発、當麻寺との連携プロジェクトなど、各学科から選抜された学生が地域・産官学連携による課題解決型プロジェクトの成果を報告。専門分野での学びを生かした、学生ならではの視点や発想が光る取組みが紹介され、会場では活発な質疑応答が繰り広げられました。



(写真上)異なる専門分野だからこそ意外性のある質問が相次いだ。
(写真下) 縮めの挨拶を行う河川充勇教授(文学部日本文化学科)・地域連携委員会委員長。

発表一覧

- 発表1 帝塚山大学 経済経営学部 経済経営学科
「優待廃止がトレンド!それどうなの?」
- 発表2 多摩大学 インターゼミ アジアダイナミズム班
「モンゴル帝国の衰退から見る宗教と統治～ロシアと中国の視点から～」
- 発表3 帝塚山大学 現代生活学部 食物栄養学科
「帝塚山大学オリジナル味噌の企画から販売まで一我々が学び得たこと」
- 発表4 帝塚山大学 法学部 法学科
「帝塚山小学校における交通安全教室の実施報告」

- 発表5 大阪電気通信大学 工学部 環境科学科
「要介護者の遠隔見守りサポート」
- 発表6 帝塚山大学 心理学部 心理学科
「大学生が創る奈良の心理教育を活用した予防的支援事業」
- 発表7 多摩大学 経営情報学部 経営情報学科
「画像生成系AIの現状と展望」
- 発表8 帝塚山大学 教育学部 こども教育学科
「明日香幼稚園での保育実践『3じからのわくわくいろいろあそび』を通しての学び」

- 発表9 帝塚山大学 文学部 日本文化学科
「當麻寺プロジェクトの進捗報告」
- 発表10 大阪電気通信大学 工学部 環境科学科
「植物の葉を利用した新しい電池」
- 発表11 帝塚山大学 現代生活学部 居住空間デザイン学科
「感染症対策における換気の実態と効果的な換気手法の提案」

就職支援の取り組み

キャリアセンターでは、学生1人ひとりが「実学教育」を通じて主体的に行動し、地域や社会に貢献できる人材の育成をめざしています。

学生が自らの意思で進路選択・就職決定ができるよう多様なサポートプログラムを実施するとともに、個人の希望やニーズや就職活動の進捗状況に合わせてきめ細かい支援を行っています。

数字で見る帝塚山大学の就職力

3年生全員との面談で手厚いサポート

キャリアセンターでは、3年次から全ての学生を対象にキャリアカウンセリングを実施しています。自分の興味や将来の目標を明確にする自己分析から始め、就職活動の進め方について学生一人ひとりに最適なアドバイスをを行います。そのほかにも、履歴書やエントリーシートの添削、資格取得の相談など、就職活動に関するあらゆる悩みに対応。さらに、プロのキャリアカウンセラーが学部の教員と情報を共有し、学生一人ひとりの希望に沿ったサポートを提供しています。この「面倒見の良さ」が帝塚山大学のキャリアセンターの特長です。

2023年度卒業生 就職関連実績

年間求人数

40,819件
(16,874社)

※2024年3月卒業生向け求人数実績

学生
1人あたり
約58件

就職内定率

97.9%
内定者数
685名

※2023年5月1日現在



希望の進路をかなえる キャリアセンターの就職活動支援

10月からの主な就職イベント

東生駒キャンパス

3年生対象 第3回キャリアガイダンス

日時：10月15日(火)・22日(火) 16:30-18:00

会場：6201教室

- ①インターンシップの振り返りと今後のスケジュール
- ②志望動機・自己PR・学生時代に力を入れたことのポイント
- ③面接対策ポイント

グループディスカッション対策セミナー

日時：10月29日(火) 16:30-18:00

会場：まほろば

オンライン就活マナーセミナー Zoom

日時：11月2日(土) 10:30-11:30

学園前キャンパス

10月

- ・就職ガイダンス
- ・おでかけキャリアセンター
- ・就職エージェント相談会 など

11月

- ・学内業界研究セミナー
- ・就職ガイダンス
- ・SPI体験受験
- ・企業・模擬面接体験会
- ・就職模試(S)
- ・就活マナー講座 など

12月

- ・学内業界研究セミナー
- ・就職ガイダンス
- ・留学生対象就職ガイダンス
- ・おでかけキャリアセンター
- ・証明写真撮影会 など

キャリアセンターが一押し企業を大学HPで紹介



2024年度から、キャリアセンターが一押しするお勧め企業をHPで紹介しています。

年間休日数、賞与額や2年目以降の年収額などの待遇面をキャリアセンターが総合的に判断し、学生に自信を持って薦められる企業を順にリストアップ。各企業の概要説明のほか、企業紹介動画などもリンク先で案内しています。ぜひ、キャリアセンター推薦の優良企業の情報を入手してください。

お問合せ | 東生駒キャンパス TEL:0742-48-9688 | 学園前キャンパス TEL:0742-41-4751

2023年度の主な就職先（※業種分類は総務省編「日本標準産業分類」に準拠）

分類内50音順
但し、公務員については分類内・業種別で50音順

文学部 日本文化学科		経済経営学部		法学部	
公務	大阪市教育委員会(中学校:国語)	公務	東京都教育委員会	公務	東京特別区
建設	阪さんでん	建設	奈良県警察本部		奈良県庁
製造	㈱グラフィック		横水ハウス㈱		奈良市役所
情報通信	キャノンアネルバ㈱	製造	大和ハウス工業㈱		大阪府警察本部(4)
卸売	ナビオコンピュータ㈱		京セラドキュメントソリューションズ㈱		京都府警察本部
	コイズミファニテック㈱		立川ブラインド工業㈱		奈良県警察本部(2)
小売	イオンリテール㈱	運輸	日本ドライケミカル㈱		大阪市消防局
	㈱近鉄リテリング		近畿日本鉄道㈱		防衛省自衛隊 幹部候補生
	近鉄ファシリティーズ㈱		センコー㈱	公共団体	(一社)日本自動車連盟(JAF)
保険	㈱かんば生命保険	卸売	㈱ライオン事務器	建設	積水ハウス㈱
	近鉄保険サービス㈱		タイフボウ情報システム㈱	製造	高圧ガス工業㈱
	明治安田生命保険相互会社		ナブコダ㈱	情報通信	ナビオコンピュータ㈱
物品賃貸業	㈱アクトワンマイチ	小売	横河商事㈱	卸売	㈱ケーエスケー
宿泊	京阪ホテルズ&リゾート㈱	金融	サントリービバレッジソリューション㈱	小売	日産大阪販売㈱
サービス	パナソニックエিজフリー㈱		㈱百五銀行	金融	大阪シティ信用金庫
複合サービス	京都農業協同組合(JA京都)	不動産	京都中央信用金庫		㈱関西みらい銀行
	奈良県農業協同組合	宿泊	近鉄不動産㈱	不動産	㈱ジェイアール西日本総合ビルサービス
宗教	宗教法人權原神宮		㈱ホテルニューアワジ		近鉄不動産㈱
進学	帝塚山大学大学院 人文科学研究科	サービス	アラマークユニフォームサービスジャパン㈱	サービス	総合警備保障㈱
			近鉄ファシリティーズ㈱	複合サービス	奈良県農業協同組合(JAならけん)

心理学部		現代生活学部		教育学部	
		食物栄養学科	居住空間デザイン学科	こども教育学科	
公務	法務省 矯正局 大阪矯正管区	公務	大阪府庁	公務	大阪市教育委員会(小学校教諭)
	海上保安庁	卸売(食品)	奈良県庁		大阪府教育委員会(小学校教諭)
	和歌山県庁		旭化成住宅建設㈱		京都府教育委員会(小学校教諭)
	堺市役所	製造(食品)	一建設㈱		京都府教育委員会(小学校教諭)
製造	和歌山県警察本部		㈱飯沼田工務店		奈良県教育委員会(小学校教諭)
	㈱湯山製作所		㈱ジャクエツ		千葉県教育委員会(小学校教諭)
	京都機械工具㈱		サクラインターナショナル㈱		兵庫県教育委員会(小学校教諭)
	日本化学機械㈱	サービス(委託給食)	住友林業ホームテック㈱		広島県教育委員会(小学校教諭)
	マツモト機械㈱		生和コーポレーション㈱		福岡県教育委員会(小学校教諭)
流通	㈱中京医薬品		セキスイハイム近畿㈱		三重県教育委員会(小学校教諭)
商社	㈱メディコスヒラタ	医療	大末建設㈱		生駒市役所(幼稚園)
	小西医療器㈱		大和ハウス工業㈱		岸和田市役所(保育園)
	デュプロ㈱		大和ハウスリフォーム㈱		神戸市役所(保育園)
金融	岩井コスモ証券㈱		東建コーポレーション㈱		城陽市役所(保育園)
	大和信用金庫		三機工業㈱		天理市役所(保育園)
	奈良信用金庫	建設(設備)	㈱池下設計		豊中市役所(保育園)
サービス	㈱キャリア	建設(設計)	㈱日企設計		箕面市役所(保育園)
進学	大阪樟蔭女子大学大学院人間科学研究科	製造(住宅設備)	タカスタンダード㈱		大和郡山市役所(保育園)
	帝塚山大学大学院心理学研究科	製造(印刷)	野崎印刷紙業㈱		和歌山県串本町(保育園)
	奈良大学大学院社会学研究科	情報通信	㈱アイティフォー		奈良市役所(行政職)

※2024年5月1日現在 ()内数字は人数

Career Report 内定者速報

キャリアセンターを活用して優良企業に内定を決めた先輩の就職活動体験談をお届けします。

自己開発ゼミナールでの学びが、就職活動の指針に。専門の講師による指導で自信を持って就職活動を進められた。

内定先 国内有数の
業務用厨房機器サプライ企業

文学部
日本文化学科4年
小宮山 太一さん



就職活動を始めたのは大学3年生の5月ごろです。最初は合同企業説明会に参加しました。その後、インターンシップを10社経験し、業界を定めずにさまざまな企業にエントリーしていました。そんな自己流の就職活動を変えるきっかけになったのは、ゼミの先生に勧められて参加した「自己開発ゼミナール」です。毎回の課題が大変でしたが、専門の講師による的確なフィードバックで計画的に就職活動を進めることができました。特に自分だけでは対策しづらい「見た目」についても、有益なアドバイスを頂きました。第一印象をよくするために常に姿勢を正すよう心がけたところ、面接での相手の反応が明らかに変わったように感じました。

後輩の皆さんへのアドバイスとしては、大学で新しいことに挑戦してほしいということです。私はボランティアで子ども食堂を手伝ったり、大学祭で縁日を企画したり、さまざまな活動に取り組んできたので、エントリーシート用のエピソードには困りませんでした。あとは、早めに行動することでしょうか。試行錯誤できる時間があると心に余裕が生まれます。迷ったり不安になったりしたときは、キャリアセンターに積極的に足を運んで就職活動を「楽」に進めましょう。

自分の強みを理解できたからこそ面接も楽しんで受けられた。経歴の棚卸しには、キャリアセンターを最大限活用して。

内定先 複数のグループ企業を
持つ総合衣料商社

現代生活学部
居住空間デザイン学科4年
下田 虎太郎さん



キャリアセンターは3年生の全局面談で初めて利用しました。経験の棚卸しをする際に、客観的な意見を頂けたのがありがたかったです。以後、就職活動は自分のペースで進めるつもりでインターンシップを何社か体験したものの、何だかしっくり来なくて、方向性がよくわからなくなっていました。そんなとき、キャリアセンターに勧められたアパレル企業のインハウスデザイナー職に、ものは試しとエントリーしたところ、とんとん拍子に選考を通過して内定を頂くことができたのです。

建築士をめざす同級生が多いなか、製図が苦手な自分はその分野を選べないことに悩んだ思いがありました。だからこそ、この選考では、大学で学んだ建築デザインの知識とスキルはどんなデザイン分野でも生かせることをアピールしました。また、選んでもらうという意識を捨て、初対面の人との会話を楽しむよう努めたことも功を奏したのかもしれません。

就職活動には正解がなく、自分に合った方法を自力で見つけるのは難しいこともあります。キャリアセンターは、自分では気づかなかった点を指摘し、足りない部分を補ってくれる場所。一人ではできないことをサポートしてもらうためにも、キャリアセンターを積極的に活用してください。

データでみる帝塚山大学の教育力

卒業生・企業対象の調査結果から

帝塚山大学では、学生や卒業生、父母等の皆様、本学と交流のある企業の方々など、さまざまなステークホルダーを対象とした各種アンケートを定期的に実施し、その結果を教育活動・学生支援の改善に生かすべくIR^(※1)に取り組んでいます。その取り組みの中から今回は、2023年度の卒業生、卒業後一定年数が経過した卒業生、本学主催の企業説明会に参加いただいた企業の方々、それぞれを対象に実施した3つの調査結果を、帝塚山大学の「教育力」という切り口で横断的に分析しました。多面的な観点から本学の課題を整理することで、今後の教育内容・方法や学生支援策の改善に役立ててまいります。

卒業生の本学の教育に対する満足度、過去最高を更新

今春卒業した2023年度卒業生に在学時の「所属学部・学科の教育内容への満足度」を尋ねたところ、「満足」または「やや満足」と回答した割合の合計は92・9%で、定期的に本調査の実施を始めた2013年度以来、過去最高を更新

図1 所属学部・学科の教育内容への満足度(ひとつ選択)

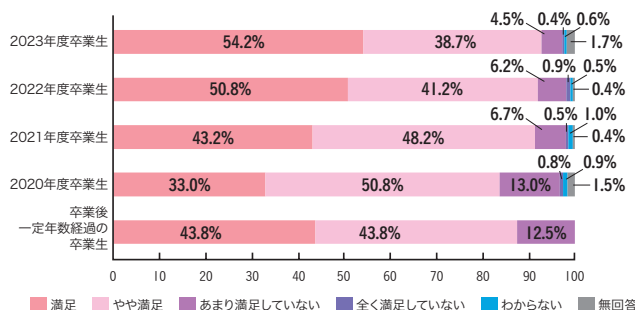
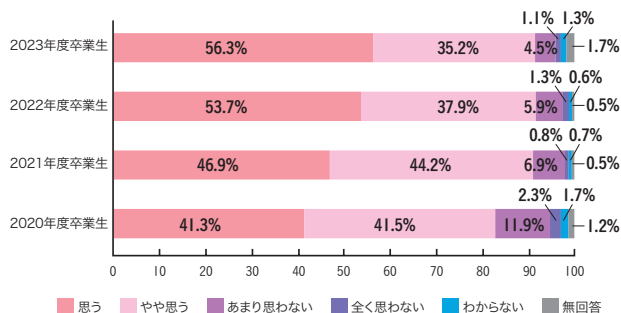


図2 帝塚山大学は面倒見の良い大学だと思うか(ひとつ選択)



新しました。さらに経年比較でみてみると、2020年度卒業生から2023年度卒業生は、コロナ禍によりオンライン授業の対応が必要な学年でしたが、「満足」の割合が毎年増加の一途を辿っていることがわかります。なお、卒業後一定年数が経過した卒業生にも同じ質問をしたところ、87・5%が「満足」または「やや満足」と回答しました。

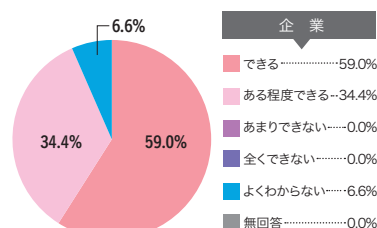
卒業生の本学の「面倒見の良さ」を評価する割合は3年連続9割超え、教育に対する満足度と同じ傾向

2023年度の卒業生に「帝塚山大学は面倒見が良いと思うか」を尋ねたところ、「思う」または「やや思う」と回答した割合の合計は91・5%で、本質問項目を追加した2019年度の調査以来、最も高い数値となった昨年度(91・6%)とほぼ変わらず、高い数値となりました。面倒見が良いと回答する割合は、ここ3年は9割を超えており、図1と同じく高い数値を維持しています。卒業生の満足度と、本学の「面倒見の良さ」への評価との相関関係が見られると言えるかもしれません。

近年卒業生が入社した企業、本学の教育取組を評価

本学が主催する企業説明会に参加いただいた企業に、「本学の教育取組によりディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力、学修成果を身につけることができると思うか」を尋ねたところ、93・4%の企業が「身につけることができる」と回答しました。図3。

図3 本学の教育取組によりディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)に掲げる資質・能力、学修成果を身につけることができると思うか(ひとつ選択)



◎帝塚山大学の定める人材養成目的および3つのポリシーは大学ホームページよりご覧いただけます。

※1 IR(=Institutional Researchインスティテュショナル・リサーチ)とは、大学の教育・研究などに関する情報の収集・分析を通して、大学の経営に関する意思決定や、教育の改善のための計画策定などの支援を行うことを指します。

『大学通信帝塚山』に毎号掲載している本頁「IRレポート」は大学ホームページでもコンテンツとしてまとめています。

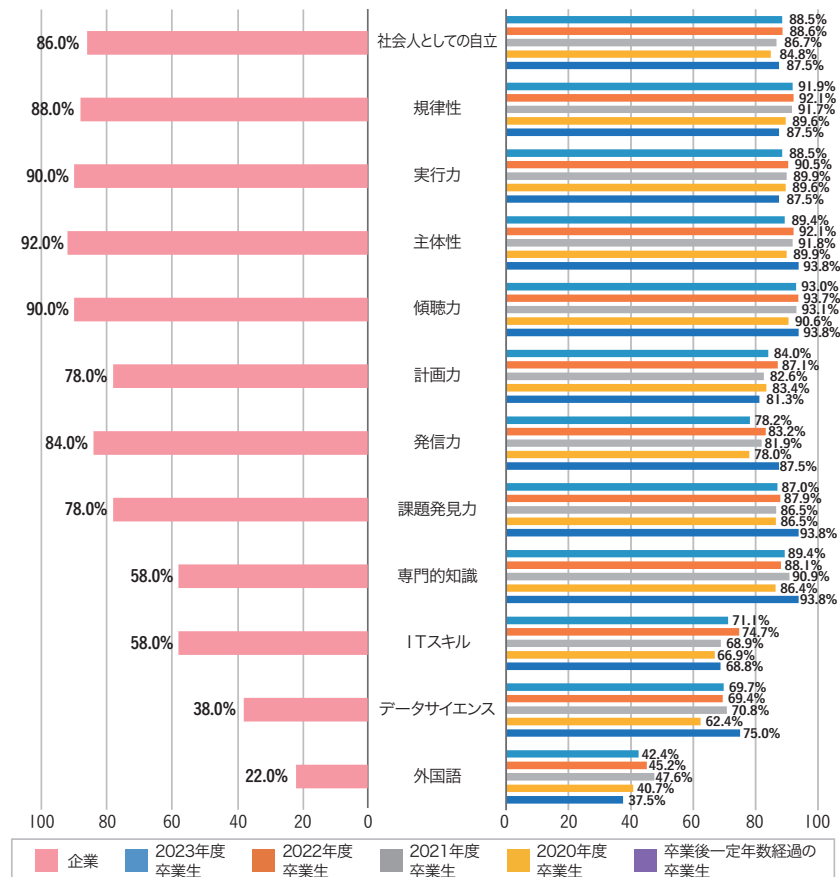
(URL)
https://www.tezukayama-u.ac.jp/disclosure/ir/



「ディプロマ・ポリシー」とは、大学、学部・学科等の教育理念に基づき、どのような力を身につけた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針となります。学校教育法施行規則により、全ての大学は「3つのポリシー」(ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)、カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)、アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針))を策定・公表することが義務づけられています。本学では人材養成目的および「3つのポリシー」に照らして、本学の教育取組の成果や効果が上がっているか、学外の方からも幅広く評価をいただき、ポリシーや教育課程編成の見直しなど、継続的な

図4 卒業生が「本学で教育を受けたことにより身につけた力」と企業が評価する「本学卒業の新卒社員が身につけている力」

卒業生：「身につけた」「やや身につけた」「あまり身につけなかった」「全く身につけなかった」「わからない」の5段階からひとつ選択。
企業：「身につけている」「やや身につけている」「あまり身につけていない」「全く身につけていない」「わからない」の5段階からひとつ選択。



※%は「身につけた(身につけている)」「やや身につけた(やや身につけている)」割合の合計

改善・向上につなげることをしています。回答のあった企業の約8割は、近年(2019〜2023年の間)に本学卒業生が入社した企業で、こうした卒業生に対する評価も、本学の教育取組に対する評価につながっていると考えられます。

本学の教育で「身につけた力」、大半の項目で卒業生が成長を実感

2023年度卒業生に12の力を提示し、「本学で教育を受けたことにより身につけた力」を尋ねたところ、上位3項目は「傾聴力」(93・0%)、「規律性」(91・9%)、「主体性」(89・4%)、一方、下位3項目は「外国語」(42・4%)、「データサイエンス」(69・7%)、「ITスキル」(71・1%)、という結果でした。昨年と比べて減少した項目も見られましたが、経年比較でみると、概ねどの力も身につけた割合は高い値を維持しています。2020年度卒業生と比較して2023年度卒業生の数値の伸びが大きかった上位3項目は「データサイエンス」(＋7・3%)、「ITスキル」(＋4・2%)、「社会人として

自立」(＋3・7%)でした。この調査結果は、あくまで学生の主観による回答を基にしているため、実際に学生がどの程度の力・知識を身につけているかこれだけでは判断できませんが、約7割の項目において学生は本学の教育を通して成長実感を得ています。なお、卒業後一定年数が経過した卒業生にも同じ質問をしたところ、最も割合が高かった力は「主体性」「課題発見力」「傾聴力」と「専門的知識」(同率93・8%)でした。

今後継続的な調査を通じて、学生の变化を注視していきます。

ての自立」(＋3・7%)でした。この調査結果は、あくまで学生の主観による回答を基にしているため、実際に学生がどの程度の力・知識を身につけているかこれだけでは判断できませんが、約7割の項目において学生は本学の教育を通して成長実感を得ています。なお、卒業後一定年数が経過した卒業生にも同じ質問をしたところ、最も割合が高かった力は「主体性」「課題発見力」「傾聴力」と「専門的知識」(同率93・8%)でした。

今後継続的な調査を通じて、学生の变化を注視していきます。

企業が評価する

本学卒業の新卒社員に

「身につけている力」、
1位は「主体性」

最近入社した本学卒業生が「いる」と回答した企業に対し、先述の卒業生に対する調査と同じ12の力を示し、「本学卒業の新卒入社3年目程度の社員が身につけている力」を尋ねたところ、最も割合が高かったのは「主体性」(92・0%)、次いで「実行力」「傾聴力」(同率90・0%)の順となりました。

今回の調査では、企業が本学卒業の新卒社員に「身につけている」と評価する力と、卒業生が「身につけている」と評価する力の上位3項目のうち、

(各調査実施概要)

- 「卒業時アンケート調査」：2024年3月卒業生を対象。2024年3月に行った卒業式の学位記授与会場において調査用紙を配付、回収。【回答者数・率(回答者数/出席者数)】714名、100.6%(学位記授与式後、調査用紙を提出した卒業生のものを含む。)
- 「卒業生(卒業後一定年数経過)アンケート調査」：卒業後3・5・10年目(2013年3月卒・2018年3月卒・2020年3月卒)の卒業生のうち、同窓会会員である者を対象。2023年10月上旬に帝塚山大学同窓会が発送した同窓会通信「わかみどり」に依頼状を同封。Webにて回答。【回答者数・率】16名、0.9%
- 「企業等対象アンケート調査」：2024年2月に本学で行った企業説明会に参加いただいた企業・団体を対象。企業説明会参加の御礼状に質問紙および返信用封筒を同封。紙またはWebにて回答。【回答者数・率】61社・団体、53.0%

※調査結果の比率は小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

「傾聴力」「主体性」の2項目が一致しました。今回の企業に対する質問は、入社3年目までを評価の対象期間にしているため、卒業時という一時点を評価した場合とは結果が異なる可能性もあります。が、実際に学生が身につけた力や教育の成果が、本学の卒業生の強みとして企業から評価されている可能性があると考えます。

今回、3つの調査結果を横断的に検証し、多面的な観点から教育活動を点検・評価することによって、本学の良さと課題が浮かび上がってきました。今後、大学としてさらなる検証を重ね、教育や学生支援の改善へとつなげていきたいと考えています。なお、「卒業生(卒業後一定年数経過)アンケート調査」について、回答率が0・9%と低く、調査対象としては十分ではないことは本調査結果を活用するにあたっての留意点としています。

本学所蔵の永野太造氏撮影写真パネル
約50点を展示

「観仏三昧」

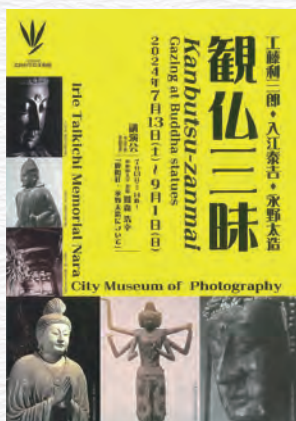
文学部日本文化学科 鷺森浩幸 教授



入江泰吉記念奈良市写真美術館（奈良市高畑町）で7月13日から9月1日にかけて開かれた展覧会「工藤利三郎・入江泰吉・永野太造 観仏三昧」において、本学所蔵の永野太造氏撮影の写真パネルが展示されました。

永野太造氏は戦後の奈良を代表する仏像写真家の一人。同氏の作品である「東大寺法華堂月光菩薩像」は「奈良大和路ポスター」に使用され、1957年の世界観光ポスター展で最優秀賞を受賞しています。「奈良学」を提唱した帝塚山短大名誉教授の故青山茂教授と永野氏が生前懇意にしていたことが縁となり、2015年に永野氏のご遺族が所有する約7000枚ものガラス乾板が本学に寄贈されました。それ以来、本学では、奈良学総合文化研究所と附属博物館が中心となり、ガラス乾板の整理とデジタル画像化を行いながら、調査と研究を進めてきました。

展覧会開幕初日には、ガラス乾板をもとに戦後期の奈良の寺院の文化的活動を研究する本学文学部の鷺森浩幸教授（専門…日本古代史・奈良学）による講演会「鹿鳴荘・永野太造について」が行われ、多くの歴史や美術ファンでにぎわいました。



学際的アプローチで高齢化社会を研究「日本老年社会学会」 学園前に多彩な分野の専門家が集結

学園前キャンパスにおいて、6月1日から2日間にわたり、日本老年社会学会 第66回大会「老年社会科学の多様性を深掘りする—2025年のその先を見据えて—」が開催されました。同学会は、経済学や社会学などの社会科学にとどまらず、医療や福祉、心理学など多岐にわたる学問分野の見地から老化と老人問題にかかわる課題を学際的に研究することを目的として発展してきました。第66回大会は、奥村由美子学長を大会長に、奈良で初めて実施されました。

大会では、シンポジウムや自主企画フォーラムのほか、ポスターセッションが行われ、研究者だけでなく企業や自治体関係者などが一堂に会して「老い」を多角的な観点から議論しました。また、2025年以降の高齢化社会への対応や、未来を見据えた持続可能な社会構築の方策が、参加者間で活発に意見交換されました。



「老年社会科学が果たす役割」と題した講演を行う大会長の奥村由美子学長

令和5年度後期 学長表彰・教職員教育功績表彰

3月29日、東生駒キャンパスにて教職員教育功績表彰の授与式を行いました。

「教職員教育功績表彰」とは、本学の教職員の意欲向上と本学の教育の質の向上と教育実践活動の活性化を図ることを目的として定めた「帝塚山大学教職員教育功績表彰規程」に基づき、教育実践に顕著な成果をあげた教職員に対して、その功績を表彰する制度です。

令和5年度後期は、文学部日本文化学科 依田恵美准教授、心理学部心理学科 式部陽子准教授、現代生活学部居住空間デザイン学科 竹山広志講師の3名の教員が表彰を受け、奥村由美子学長から賞状と記念品を授与されました。

本学では今後もこのように教職員への顕彰を続け、意識を向上させることで、より高い教育を実践していくよう努めます。



授与式で奥村由美子学長とともに笑顔で撮影に応じる



左から順に文学部日本文化学科 依田恵美准教授、心理学部心理学科 式部陽子准教授、現代生活学部居住空間デザイン学科 竹山広志講師



奈良学への招待



つるべすし弥助

多くの日本人に好まれるすしですが、現在のような酢飯に魚を乗せて提供する姿になったのは江戸時代以降とされています。

すしについての記録で古いものとしては平城宮跡出土木簡に書かれた「多比鮠」が挙げられます。また、『今昔物語集』に書かれたすしについての描写などを見ると、現在でいうところの滋賀県の鮒ずしのような、米で魚を乳酸発酵させた熟れずしであったことが分かります。こうしたすしが変化して、押しずし

や奈良の柿の葉ずしが生まれたと考えられています。

吉野郡下市町に所在する「つるべすし弥助」は歌舞伎にも登場するすし屋です。弥助では昭和後期頃まで、鶴瓶のような桶に鮎と麴を混ぜた米を入れて圧したつるべすしをだしていました。このすしは天皇にも献上したといわれ、運搬して商品が手元に届く2〜3日後にはちょうど良い具合に発酵が進んだすしになるというものでした。

上記のすしの歴史を考えると、つるべすしも江戸時代以前の古いすしの形を残していることが分かります。

古代のすしと「つるべすし弥助」

文学部

日本文化学科 講師 西連寺匠

所蔵品紹介

大和の鬼瓦（室町時代）

瓦屋根の風景は日本の町並みに欠かせません。瓦は当たり前のように我々の身近にあります。瓦は日本家屋の象徴といえます。瓦屋根を見ると瓦にも色々な形のものがあることに気づきます。そうしたなかでひととき目立つ存在が鬼瓦です。鬼瓦は瓦の象徴といえます。鬼瓦は魔よけのために屋根の隅々に配置されました。

写真は本学が所蔵する大和の鬼瓦です。この鬼瓦が制作された室町時代中期（15世紀）は鬼瓦の歴史にとって画期となった時代です。室町時代に我々がよく目にする、二本の

角を生やし、強い目力をもった鬼瓦が奈良、大和の地で誕生したのです。

そもそも古代の鬼瓦に角はありませんでした。鎌倉時代に一本角の鬼瓦が登場し、室町時代になって二本角の鬼瓦がつくられたのです。同じタイミングで、目力を強くするために瞳の部分くり抜いて空洞にする工夫もほどこされました。

我々がイメージする鬼瓦の原型は、室町時代に大和の瓦職人が創作した鬼瓦にあったのです。奈良、大和の瓦づくりの技とこだわりがわかる逸品です。

文学部

日本文化学科 教授 清水昭博



本学教員の執筆図書紹介

執筆図書一覧

本学教員の著作は、教育研究活動成果の公開を目的として、東生駒キャンパス図書館本館と学園前キャンパス図書館分館の「業績図書」コーナーに配架されています。

(発行年月順)

教員名	所属／役職	分類	書籍名	出版社	発行年月	価格
鷺森 浩幸	文学部日本文化学科/教授	分担執筆	新修斑鳩町史 上巻	斑鳩町	2022年7月	町内在住者 3,500円(税込) 町外在住者 6,500円(税込)
青田 テル子	法学部法学科/教授	分担執筆	憲法：ベーシックテキスト	法律文化社	2023年9月	2,600円+税
花田 卓司	文学部日本文化学科/准教授	分担執筆	概説日本法制史 第2版	弘文堂	2023年9月	3,600円+税
黄 韜騷	法学部法学科/教授	分担執筆	ベーシック国際取引法	法律文化社	2023年12月	2,800円+税
石田 慎二	教育学部子ども教育学科/教授	編著	社会福祉(新・プリマーズ 保育/福祉)	ミネルヴァ書房	2024年2月	2,000円+税
新宅 賀洋	現代生活学部食物栄養学科/教授	分担執筆	フローチャートで学ぶ栄養教育論実習 改訂第2版	建帛社	2024年3月	2,000円+税
関根 俊一	名誉教授	監修	紀三井寺文化財調査報告書 美術工芸編	紀三井寺(護國院)	2024年3月	
鷺森 浩幸	文学部日本文化学科/教授	分担執筆	府中地域の歴史と生活(和泉市の歴史 5 地域叙述編)	和泉市 ぎょうせい(発売)	2024年3月	3,143円(税込)
関根 俊一	名誉教授	監修	奈良大和路のみほとけ: 令和古寺巡礼	山口県立美術館他	2024年4月	
鈴木 卓治	全学教育開発センター/教授	共著	教育の新たな“物語り”の探究: 現代教育学のフロンティア	書肆クラレ・朱鷺書房	2024年4月	2,500円+税

奈良県初の「認定絵本土」が誕生 絵本スペシャリストとしての一歩を踏み出す

絵本の魅力を伝える「認定絵本土」の認定証授与式を、6月27日、学園前キャンパスで行いました。認定絵本土は国立青少年教育振興機構（東京都）が全国の大学や短大などと連携して認定する民間資格で、2019年度から養成制度が始まりました。子どもたちに絵本の魅力を伝え、地域の読書活動を充実させる担い手となることが期待されています。

本学では、2023年4月から奈良県内で唯一となる「認定絵本土養成講座」を教育学部

に設け、「認定絵本土」を養成しています。絵本専門士委員会（事務局・国立青少年教育振興機構）から「認定絵本土養成講座」の開設が認定されている大学などの機関は、2024年4月時点で全国でわずか57機関です。

授与式には、単位取得を経て認定された40人の4年生が出席。絵本専門士でもある教育学部こども教育学科の徳永加代教授の進行のもと、杉村智子教育学部長から一人ひとりに認定証が手渡されました。式の後は、認定を受けた学生らが絵本の読み聞かせや紙芝居などを披

露しました。認定を受けた学生のひとりである辺保瑠璃子さん（こども教育4年）は、「講座で学んだことを生かして子どもたちに絵本の楽しさを伝えたい」と抱負を語りました。



（写真上）奈良県で初めての認定絵本土となった40人の学生が認定証を手にポーズ。会場には、今年養成講座を受講している3年生も詰めかけた。（写真中）杉村智子教育学部長から一人ひとりの学生に認定証が手渡された。皆が神妙な面持ちで授与に臨んだ。（写真下）式の終了後に群読や紙芝居を、抑揚のある声で披露する学生たち。

手土産にぴったりなオリジナル商品 茜色の学園章が鮮やか！ 大学開学60周年記念「帝塚山あめ」



4月8日から、東生駒・学園前の両キャンパスのYショップにて、開学60周年を記念した「帝塚山あめ」を販売しています。このオリジナルの「帝塚山あめ」は、本学教養学部の卒業生の

上田康世さんが代表を務める企業、(株) ANYQOTTの全面協力のもと、学園章の松かさを金太郎あめのように形作った組み飴で、やさしいミルク味が特徴です。

「帝塚山あめ」はオリジナルデザインのPT容器に14粒入りで864円（税込）。(株) ANYQOTTの定番商品の大仏あめや鹿あめとセットにした商品もご用意しています。手土産や贈答品に最適ですので、ぜひ買い求めください。

お問い合わせ

学園前キャンパスYショップ (Tel: 0742-47-0948)

東生駒キャンパスYショップ (Tel: 0742-41-6515)

日本語教員の卵が企画運営 留学生のための日本文化交流会で生け花体験

日本文化学科では、日本語教員養成プログラムの一環として、日本語教員資格習得をめざす学生たちが留学生向けの日本文化交流会を企画・運営しています。華道や茶道、弓道など日本の伝統文化の体験を通じて親睦を深める交流会は2022年度に始まりました。

5月27日には華道部の協力のもと、東生駒キャンパスの新和室において生け花体験会を行いました。大和末生流の家元である須山法香斎先生にお越しいただき、直接生け花のご指導をいただきました。須山先生のご尊父の故・須山章信先生（日本近世演劇研究、先代家元）は、本学園の中学校・高等学校、短期大学、そして大学人文学部（現・文学部）で長らく教鞭をとられた方です。

須山先生のユーモアあふれる指導を受けながら、留学生たちはバラを花材とした生け花に取り組みました。慎重かつ丁寧に仕上げられた作品は、初めてながらもなかの出来栄え。その場で華道部への入部を決める学生もいました。生け花体験終了後には、茶道部がお茶会を開き、皆でお抹茶とお菓子を楽しみました。





父母等の皆さまへ

2024(令和6)年度 大学後援会総会・ファミリークラブ総会を開催

5月18日、東生駒キャンパス6号館において、2024(令和6)年度帝塚山大学後援会総会を開催しました。大学後援会は、学術の研究・学生教育の援助、また会員・教職員・学生相互の親睦を図ることを目的とした組織で、在学生の父母等で構成されています。当日は約60名の父母等の皆様が総会に出席されました。

役員会では、2024(令和6)年度の役員人事、予算等の審議が行われ、続く総会では、小西後援会新会長、奥村由美子学長の挨拶の後に、2023(令和5)年度の決算報告があり、役員会で承認された今年度の役員人事や予算等に関する説明が行われました。

総会の終了後には、熊谷副学長より学生生活全般についての解説があり、「大学生という特別なとき」と題して、各学部の教育内容や施設の紹介、大学祭(あかね祭・虹色祭)等の各種行事、強化スポーツクラブをはじめとしたクラブ活動の様子などが写真も交えて紹介されました。

学生食堂で昼食を取った後は、バスに分乗して午後から東大寺を訪れました。同日に開催されたファミリークラブ総会の出席者も合流し、合計約150名の参加者が大仏殿・南大門・東大寺ミュージアムなどを参拝見学されました。

参加者された方々からは、「大学のことを知る良い機会となりました。」「子どもへのかかわり方についても詳しく聞けて良かった」「学外見学会では、文学部の先生の専門的で興味深い解説を聞いて貴重な体験となりました。」などの感想が寄せられました。

令和5年度卒業式・修了式&令和6年度入学式を挙行



3月22日、第57回帝塚山大学卒業式・第32回帝塚山大学大学院修了式を学園前キャンパスの学園講堂にて2部制で挙行し、学士課程計772名、大学院修士課程の計10名が学び舎を巣立ちました。4年ぶりに通常の式典と同じプログラムで行われ、多くのご家族の皆様にご子息ご息女の晴れ姿を見守っていただきました。

式終了後には、学部学科、研究科ごとに場所を移して学位記の授与が行われました。構内に準備されたフォトスポットやはとの広場で、恩師や友人、父母らと笑顔で撮影を行う卒業生の姿がいつまでも続きました。

4月1日には、第61回帝塚山大学入学式および第36回帝塚山大学大学院入学式を学園前キャンパス学園講堂にて2部制で挙行しました。

式辞で奥村由美子学長は、「面倒見の良い大学」として学生を専門的で、総合的で、実践的な「知」へと導き、学生がのびやかに生きていけるように教職員が一丸となって応援すると呼びかけました。

卒業式に引き続き設けられたフォトスポットでは、保護者や友人と記念撮影に興じる新入生の姿が見られました。上級生たちはクラブ勧誘のちらしを手に、新たに後輩となる新入生へ入部勧誘のアピールを行っていました。

令和5年度 帝塚山大学名誉教授称号 授与式を行いました

2024年3月29日、令和5年度帝塚山大学名誉教授称号授与式を学園前キャンパスにて行いました。

名誉教授の称号は、本学の教授として15年以上在職した方、在職期間にかかわらず教育上又は学術上特に顕著な功績のあった方に授与するものです。令和5年度は経済経営学部の向井篤弘教授に、名誉教授の称号が授与されました。

授与式では、奥村由美子学長から名誉教授の証書が手渡され、向井教授の功績と永年にわたる大学への貢献に対して感謝の言葉が述べられました。



管理栄養士として学校で働くという夢をかなえて

栄養教諭として、給食センターでは献立づくりや厨房での衛生管理を行っています。また、中学校では生徒と一緒に給食を準備しながら、生徒の声を聞くことも大切な業務のひとつにしています。生徒の食への関心が高まるように手づくりの教材を準備して食育の授業を行ったり、保護者向けのおたよりを作成したりしています。

何よりも仕事のやりがいになっているのは、自分の考えた献立を実際に食べてもらい、その感想が聞けること。「おいしかった」という言葉は励みになりますし、残食が多い場合でも次の工夫につなげようと意欲が湧いてきます。食育の授業で楽しそうに学ぶ姿を見るのもモチベーションになります。初めは思うように進められなかった授業も、校長先生や家庭科の先生からアドバイスをいただき、教材や授業の組み立て方を工夫することで徐々に手ごたえを感じられるようになりました。

帝塚山大学に進学したのは、長年の夢であった管理栄養士をめざすため。在学中は、ゼミ活動で企業とコラボしてお弁当を開発したり、大和野菜を使ったレシピを考案したりするなど、実践的な活動に取り組みしました。私が食育に興味を持ったきっかけのひとつに、小学校時代の先生の存在があります。その先生には、お米を育てたり、桜の葉やよもぎを摘んで桜餅やよもぎ団子を作ったりなど、いろいろな経験をさせてもらいました。私もその先生のように生徒たちに楽しいと感じてもらえる食育体験を提供していきたいです。大学で学んだ食育の知識を生かして、夢を実現したいと思います。



(左) 産学官連携で大和野菜を使ったお弁当を開発するなど、在学中はさまざまな実学プロジェクトに参加した。(右) 管理栄養士国家試験に向けてともに学んだ同級生たち。この友人たちとの出会いが何よりの宝物だと語る。



滋賀県教育委員会
草津市立玉川中学校 勤務

栄養教諭

尾崎 友美さん

現代生活学部食物栄養学科 2019年3月卒業

卒業生紹介

生徒の成長を見るたび
教師である喜びを感じる



奈良県教育委員会
奈良市立三笠中学校 勤務

国語科教諭

高木 慎樹さん

文学部日本文化学科 2021年3月卒業

自分を戒めるのではなく可愛がれる人になってほしい

現在、奈良県内の公立中学校で、学級担任のほか、学年生徒指導、国語科主任を担当しています。業務は大変ですが、生徒の努力や成長を目の当たりにするたび、教師になってよかったと感じます。だからこそ、毎日の授業や生活指導の中で、どれだけ生徒たちに尽くしているかを顧みて、改善するように心がけています。

もちろん、日々の授業計画や生徒とのかかわりで悩むことも少なくありません。授業がうまく進められなかったり、生徒とのコミュニケーションが思うようにいかなかったりするたびに、振り返りを行うようにしています。そして成功した時は自分を褒めてモチベーションにつなげています。生徒とともに自分も成長できるよう奮闘する日々ですが、同僚の先生方のサポートが大きな助けとなっていることを実感しています。

進学先に帝塚山大学を選んだのは、ラグビーを大学でも続けたい、そして教師になりたいという目標があったから。どちらもかなえられる帝塚山大学は私にとって理想的な大学でした。大学時代は部活動と並行して教職試験への準備にも力を入れました。コロナ禍での受験でしたが、夏休みも図書館に通いつめて勉強したのが懐かしく思い出されます。特に、「教師塾」の先生方には、筆記試験対策から面接試験対策まで大変お世話になりました。そこで学んだ教師の心得は今も肝に命じています。今後の目標は、生徒たちに「このクラスでよかった」と思ってもらえる学級経営。自分を戒めるのではなく、可愛がれる生徒を増やしていきたいんです。どこよりも居心地の良いクラスづくりをめざして、がんばりたいと思います。



(写真左) 大学時代、もっとも力を入れたというラグビー部での部活動。毎年、長野県にある菅平高原で行われる夏合宿は約2週間と長丁場で、非常に過酷な体験であったという。だが、だからこそ人間力が養われたように思うと話す。

2024年、帝塚山大学は開学60周年を迎えます。



1964年、教養学部のみで女子単科大学として始まった帝塚山大学。開学60周年を迎えた今、6学部7学科大学院2研究科を擁する奈良県最大規模の文系総合大学へと発展を遂げました。本学ではこの佳節を祝うさまざまな記念行事やプロジェクトを展開しています。

1. 開学60周年記念式典

日時：2024年10月5日（土）10:00～

会場：帝塚山大学学園前キャンパス 学園講堂

内容：記念式典・記念講演会・記念演奏会（奈良フィルハーモニー管弦楽団による弦楽四重奏）

出席者：招待者及び学内外の関係者

2. 開学60周年記念特別サイトの公開

3. 開学60周年記念誌の発行（2024年度内発行予定）

4. 職員有志チームによる記念プロジェクトの実施

5. 各学科による記念行事の実施

- ・現代生活学部食物栄養学科「食物栄養学科の過去・現在・未来をつなぐ」（6/15）
- ・法学部法学科 瑞光双光章受章記念＆警察実務講座100回記念講演会（6/21）
「警察官人生を語る」（松岡幸司客員教授）
- ・文学部日本文学科 富麻寺護念院 葛本雅崇住職の講演会（7/25）ほか

一般の方にも
ご参加いただける
学科の記念行事



■経済経営学部経済経営学科 大学開学60周年記念講座

～学ぶ・繋ぐ・生み出す～

「経営者と学生が起こす化学反応」

経済経営学科で行ったアクティブラーニングが、実際に企業の課題解決に結びついた事例をかかわった学生が報告し、ビジネスの現場から見た「実学」の重要性についてディスカッションします。

日時 2024年9月21日（土）10:00～12:00（受付9:30～）

場所 帝塚山大学 学園前キャンパス18号館18411教室

講師 森山賢氏（株琉球補聴器 代表取締役）

奥田智氏（株をくだ屋技研 代表取締役社長）

杉田龍飛氏（（公財）関西経済連合会 経済調査部 参事）

学生報告：福永泰士（帝塚山大学 経済経営学部4年）

参加費 無料

申込方法 大学ホームページから（QR）

申込締切 9月20日（金）

お問合せ先 教学支援課（経済経営学部）

TEL 0742-48-9486（平日9:00～17:00）



■教育学部こども教育学科 大学開学60周年記念イベント

第1回 てづかのこどもフェス

こども教育学科の学生が日ごろの学びをもとに企画・運営する「こどもフェス」を開催。親子で楽しめるプログラムがいっぱいです！

日時 2024年10月26日（土）10:00～15:00

●午前の部 9:00～12:00（定員 60組）

4つのあそびの場

- ① えほんのおへや「秋のスペシャルおはなし会」
- ② ふくわじゅつのおへや「かんちゃんやってくる」
- ③ あーとのおへや「みんなで自分だけの光る宝宝箱をつくろう！」
- ④ うんどうのおへや「元気いっぱい体を動かそう」

●午後の部 13:30～15:00（定員 60組）

絵本作家たかいよしかず先生によるおはなし会＆ワークショップ
& サイン会
「みんなで大きな絵を描こう」

会場 帝塚山大学学園前キャンパス18号館

※おむつ替え・授乳スペースあり

参加費 無料

対象 奈良市、生駒市および近隣地域の未就学児・小学校低学年の子どもとそのご家族

申込方法 大学ホームページから（QR）

申込締切 10月14日（月）12:00（申込多数の場合は抽選）

後援 奈良県教育委員会・奈良市・奈良市教育委員会

午前の部申込



午後の部申込



開学60周年記念募金のお願い

帝塚山大学の教育活動の一層の充実と発展のため、皆様の温かいご支援を賜りたくお願い申し上げます。

募金目標額 2千万円

募金の対象 趣旨に賛同いただける卒業生、教職員、学園関係者並びに個人及び法人・各種団体等、関係の皆様

募金の使途 学生生活を快適に過ごすための居場所作り

- ①少人数やひとりでくつろげるスペースの整備
- ②会話やコミュニケーションを楽しむ場の整備
- ③校内設備の快適性向上・美装化、省エネタイプの設備の整備

募金の種類 1.個人募金 1口1万円

2.法人募金 口数によらず、ご協力をお願いいたします。

募金の期間 2024年4月～2025年3月まで

ご芳名の公表 振込用紙に記載されたお名前がホームページ、広報誌等に記載させていただきます。なお、ご希望により匿名でのお取り扱いもいたします。

詳しくは https://www.tezukayama-u.ac.jp/application/themes/basic/img/60th/60th_pamphlet.pdf



募金についてのお問合せ

総務課（東生駒キャンパス）〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1

TEL：0742-48-9122／FAX：0742-48-9135

mail：60kifu@jimu.tezukayama-u.ac.jp

NOTICE

2024年度 教育懇談会について

本学の教育内容や就職支援の取組みについて理解を深めていただく機会として、教育懇談会を開催いたします。今年度は全学部全学科を対象に学園前キャンパスで実施いたします。多数の皆さまにご参加いただき、ご子息・ご息女の修学状況につきまして、本学教職員と情報共有や意見交換をさせていただきます。

【日時】 2024(令和6)年10月20日(日)
10:00～(9:30～受付開始)

【場所】 帝塚山大学 学園前キャンパス
※本年度はすべての学部学科に在籍の父母等を対象に「学園前キャンパス」で開催します。東生駒キャンパスでは開催しませんのでご注意ください。

【対象】 文学部、経済経営学部、法学部、心理学部、現代生活学部、教育学部に在籍される学生の父母等の皆様

【当日のタイムスケジュール】

(第一部) 全体会

9:30～ 受付開始
(学園前キャンパス 学園講堂)

10:00～ 開会 大学役職者の紹介

10:05～ 学長からのメッセージ

10:50～ キャリアセンターの取組みについて(仮)

○本学のキャリア支援、進路支援などについて説明します。

(第二部) 昼食懇親会/学部学科別プログラム

12:00～ 昼食(立食形式)

13:10～ 学部学科別プログラム(各学部学科の取組について、学生支援などについて)

15:00～ 閉会 プログラム終了(予定)



※申込みに関しては7月下旬に大学からご案内をお送りしています。

【お問い合わせ先】 帝塚山大学 学生生活課 教育懇談会係
東生駒キャンパス (文・経済経営・法の各学部)
TEL: 0742-48-9185
学園前キャンパス (心理・現代生活・教育の各学部)
TEL: 0742-41-4329

第60回 虹色祭



今年も来場者無制限で「虹色祭」を開催します。バラエティ豊かな模擬店のほか、展示やステージイベントもさらにパワーアップ。フィナーレは虹色祭恒例の打ち上げ花火です。大学開学60周年に合わせた企画もあるかも!?

【日程】 2024年11月16日(土)・11月17日(日)
10:00～19:00(予定)
【定員】 帝塚山大学 東生駒キャンパス



第10回ホームカミングパーティ開催のお知らせ

2024年11月17日(日)に帝塚山大学東生駒キャンパスにて「第10回ホームカミングパーティ」を開催します。大学祭「虹色祭」開催中の母校で、懐かしの恩師・同窓生と一緒に学生時代にタイムスリップしませんか。

10回目の記念となるイベントを考えておりますので、同窓生の皆様お誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。詳細が決定しましたら大学HPで告知します。または、9月発送予定の同窓会会報誌をご覧ください。



EXHIBITIONS

第18回企画展示
「眠具ーねむりの道具と文化ー」

本展示では箱枕や布団など睡眠に関する道具類を紹介し、人間の基本的な行為でありながら、あまり顧みられないことのない「睡眠」の文化について道具からひも解きます。

【開催期間】 2024年9月30日(月)～11月2日(土)
【場所】 帝塚山大学附属博物館
【入館料】 無料
【休館日】 日・祝ほか指定の日(詳細はHP)

葛城市歴史博物館共催
第43回特別展示
「當麻寺ー帝塚山大学所蔵品を中心にー」(仮)

1300年を超える歴史を持つ當麻寺は、極楽浄土を願った中將姫の伝説で知られてきました。恒例行事「練供養」が国の重要無形民俗文化財に指定されたことにちなみ、本学所蔵品を軸に、葛城市歴史博物館の資料も迎えて展示します。

【開催期間】 11月18日(月)～12月21日(土) 9:30～16:30
【場所】 帝塚山大学附属博物館 **【入館料】** 無料
【休館日】 日・祝ほか指定の日(詳細はHP)

【展示に関するお問い合わせ】 帝塚山大学附属博物館 TEL:0742-48-9700 <https://www.tezukayama-u.ac.jp>

Event & Information

※予告なく、イベントが中止、開催形態が変更される場合がありますので、

UPCOMING SEMINARS

開催予定のイベント

帝塚山大学特別客員教授

寺島実郎氏による特別公開講座

日本再生の構想 全体知と時代認識

- 【開催日時】 2024年11月2日(土)
14:00～15:30(受付13:30～)
- 【開催場所】 学園前ホール
(奈良市西部会館市民ホール)
- 【講師】 寺島 実郎 氏
(帝塚山大学特別客員教授)
- 【定員】 300名 ※申込先着順
- 【受講料】 2,000円(テキスト代込)
- 【申込方法】 大学HP「公開講座ページ」の所定の
申込フォームからお申込みください。
- 【お問合せ】 総務課 公開講座係 学園前キャンパス
TEL: 0742-41-4716(平日9～17時)



帝塚山大学いこま教養講座

奈良の歴史・文化財

- ① 11月6日(水) 10:00～11:30
「考古学からみた聖徳太子の生涯―宮殿・寺院・墳墓―」
清水 昭博 教授(考古学)
- ② 11月13日(水) 10:00～11:30
「倭国の4世紀」 鷲森 浩幸 教授(古代史)
- ③ 11月20日(水) 10:00～11:30
「中世奈良の仏師と仏像」 杉崎 貴英 教授(美術史)
- 【開催場所】 芸術会館美楽来
(生駒市西松ヶ丘2-20/近鉄生駒駅徒歩約8分)
- 【定員】 30名 ※抽選制
- 【受講料】 3,300円(全3回・税込み)
- 【申込方法】 芸術会館美楽来HPの所定の申込フォームからお申込みください。
FAX: 0743-74-1220
- 【お問合せ】 芸術会館美楽来 TEL: 0743-74-1101

正倉院特別公開講座

正倉院展を深く味わう2024

- 【開催日時】 2024年10月30日(水)
10:30～12:00(受付10:00～)
- 【開催場所】 東大寺総合文化センター
金鐘ホール
(奈良県奈良市水門町100)
- 【講師】 西山 厚 氏(帝塚山大学客員教授)
- 【定員】 300名 ※申込先着順
- 【受講料】 無料
- 【申込方法】 大学HP「公開講座ページ」の所定の
申込フォームからお申込みください。
- 【お問合せ】 総務課 公開講座係 東生駒キャンパス
TEL: 0742-48-9192(平日9～17時)



市民大学講座

- 10月5日(土) 14:00～15:30
第521回市民大学講座「睡眠の道具と民俗」西連寺匠
講師(帝塚山大学文学部講師・附属博物館学芸員)
- 10月26日(土) 14:00～15:30
第522回市民大学講座「死者の枕と葬送儀礼―古墳から出土する様々な枕―」
久永 雅宏 氏(大阪府立近つ飛鳥博物館学芸員)
- 11月2日(土) 14:00～15:30
第523回市民大学講座「英雄は同じ夢を見る！？～曹操と藤原鎌足の玉枕～」
牟田口 章人 氏(帝塚山大学客員教授)
- 【開催場所】 帝塚山大学 東生駒キャンパス 1号館 1101教室
第522回のみ、東生駒キャンパス 5号館 5104教室
- 【定員】 150名(予約100名・当日50名)
- 【受講料】 無料
- 【申込方法】 大学HP「公開講座ページ」の所定の申込フォームからお申
込みください。
- 【お問合せ】 帝塚山大学考古学研究所 TEL: 0742-48-9294

奈良学総合文化研究所・考古学研究所共催

奈良学への招待XXIII

- 第1回 11月2日(土) 10:30～12:00
「藤原鎌足の大織冠に迫る―阿武山古墳棺内写真分析から―」
牟田口 章人 氏(帝塚山大学客員教授教授)
- 第2回 11月23日(土) 13:00～16:00 ※葛城市歴史博物館共催イベント
第524回市民大学講座市民大学ウォーク②
「當麻寺と周辺の遺跡」
清水 昭博 教授(帝塚山大学考古学研究所所長・附属博物館館長)
【集合】當麻寺(東大門)【解散】近鉄 當麻寺駅
【コース】當麻寺境内～首子古墳群～只塚廃寺～近鉄・當麻寺駅
- 第3回 12月14日(土) 14:00～15:30 ※特別展示関連講座
第525回市民大学講座「當麻寺練供養と菩薩講」
葛本 雅崇 氏(當麻寺護念院22世住職)

- 第4回 12月21日(土) 14:00～15:30
※特別展示関連講座 ※歴史考古学研究会共催
第526回市民大学講座
「當麻寺建立にいたる當麻地域の歴史について」
神庭滋 氏(葛城市歴史博物館館長)

- 【開催場所】 帝塚山大学 東生駒キャンパス 1号館 1101教室
- 【定員】 第1回80名 第2回30名(抽選)
第3回・第4回 150名(予約100名・当日50名)
- 【受講料】 無料
- 【申込方法】 大学HP「公開講座ページ」の所定の申込フォームから
お申込みください。
- 【お問合せ】 (第1回のみ) 奈良学総合文化研究所
TEL: 0742-48-8842(火・木・金)
(第2回以降) 帝塚山大学考古学研究所
TEL: 0742-48-9294

訃報

本学名誉教授の BRUCE E.CARPENTER 先生が、2024年4月14日に逝去されました(享年78歳)。

1976年4月、本学に着任。1997年には人文学部英語文化学科(後に人文学部英語コミュニケーション学科)教授、2011年4月より名誉教授とな
られました。

ご生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



米国ニューヨーク州の郊外にあるロングアイランド出身のデビッドソンさん。日本のアニメやJPOP、日本人のYouTubeで日本文化に興味を持ち、独学で日本語の勉強を続けてきました。目まぐるしいニューヨークのような都会では常に緊張を強いられ、静かに自分の好きなことに取り組むのが難しく、いずれは日本に留学して興味のある日本文化に没頭したいとの気持ちが強くなっていったと明かします。

ニューヨーク州ロングアイランド出身のトロイ・ロバート・デビッドソンさん。ゆったりとした時間の中で大好きな日本文化を学べるのがうれしいと話す彼に日本での目標について聞いてみました。

日本文化の奥深さを

歴史都市「奈良」で

存分に味わいたい

文学部 日本文化学科1年
トロイ・ロバート・デビッドソン さん
アメリカ合衆国ニューヨーク州 出身



(写真) 留学生のための日本文化交流会では琴の演奏にチャレンジ

か。デビッドソンさん曰く、『浦島太郎』や『雪女』などに現れる「見るな禁止」といったモチーフは、世界各国で見られるものの、アメリカではその類の物語はあまりなく「建国のヒーロー系」の民話が主流なのだそう。学外実習で訪れた當麻寺では中将姫の伝説を知り、シンデレラとの共通性を感じたらしく、同じようなテーマが扱われていても国によって表現方法が異なることが、民話や昔話の面白さだと話してくれました。

目下の目標は、今よりも上のレベルの日本語検定試験に合格すること。テキストを毎日コツコツと解き続けて試験対策を行い、リアルな日本語はアニメや漫画の言い回しを参考にしながら学んでいるそうです。「将来の夢は？」と尋ねると、「究極の翻訳家」だと笑顔で答えるデビッドソンさん。日本とアメリカの文化の違いと共通点を理解し、物語の根底にあるテーマを日本語と英語の両方で伝えられる翻訳家になりたいと目を輝かせました。

開学60周年特別制度で 入学金を全額返還

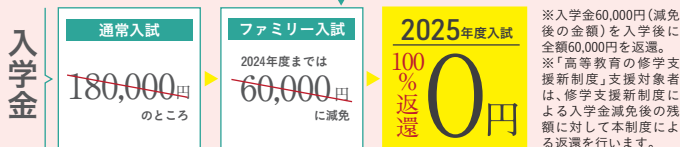
2025年度 ファミリー入試(専願)のご案内

ファミリー入試とは、帝塚山学園の建学の精神・学風を深くご理解いただき、共に帝塚山大学のファミリーとしてお力添えを頂ける方のご入学を歓迎する入試制度です。

出願資格は、学校法人帝塚山学園が設置するいずれかの学校(幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、大学院、短期大学)の卒業生、もしくはは在校生・在学生の2親等以内の親族で、本学が定める基準を満たし、高等学校を2024年4月1日から2025年3月31日までに卒業された方または卒業見込みの方です。

*出願の際には「帝塚山ファミリー」であることの証明書(卒業証書の写し・卒業証明書等を添付)が必要です。

ファミリー入試でご入学されると、開学60周年特別制度で入学後に入学金を全額返還



■ 募集人員 若干名(各学科とも) ※学科ごとに成績等の諸条件があります。

■ 選考方法 ①面接 ②書類審査(調査書・志望理由書)

■ 前期スケジュール

出願期間	2024年9月17日(火)～10月3日(木)(消印有効)
試験日(面接)	2024年10月12日(土)
合格発表	2024年10月18日(金)
1次手続締切日(入学金納付)	2024年11月8日(金)

■ 後期スケジュール

出願期間	2024年11月25日(月)～12月18日(水)(消印有効)
試験日(面接)	2024年12月22日(日)
合格発表	2024年12月25日(水)
1次手続締切日(入学金納付)	2025年1月8日(水)

詳しい出願資格や要件などに関しては、事前に入試広報課までお問い合わせください。

入試対策講座 & mini OPEN CAMPUS

学園前キャンパス

10.6 [日]

公募制推薦対象
小論文・国語・英語

LINE・Instagramで帝塚山大学の最新情報をお届けします! /

LINEでは帝塚山大学の最新情報をお届けします! Instagramでは先輩たちを取り巻くリアルな大学情報をお届けします。ぜひご登録ください! QRコードからもご登録いただけます。



【お問合せ】 帝塚山大学 入試広報課

Tel 0742-48-8821 (直通)

Fax 0742-48-9021

nyushi@jimu.tezukayama-u.ac.jp



「大学通信帝塚山」企画・編集委員会

編集・発行 帝塚山大学 入試広報課 発行日 2024年9月

〒631-8501 奈良市帝塚山 7-1-1 TEL 0742-48-9149 (広報専用) FAX 0742-48-9021

mail koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp URL https://www.tezukayama-u.ac.jp/

卒業生の住所変更などのお問い合わせ先: 帝塚山大学同窓会わかみどり会 TEL 0742-48-6157 (平日 10時～15時)



学校法人 帝塚山学園